

いっぺんそうま来てくだ祭

日本商工会議所青年部　第45回 東北ブロック大会

福島そうま大会

令和8年10月17日(土)18日(日)

主催：東北ブロック商工会議所青年部連合会・日本商工会議所青年部
主管：相馬商工会議所青年部　副主管：福島県商工会議所青年部連合会

YEG

日本商工会議所青年部　第45回東北ブロック大会

福島そうま大会



YEG WAY

YEG WAY

Philosophy

『社会の永続』
私たち商工会議所青年部は
個人ならびに企業の健全な成長と豊かな未来を希求し
地域の発展と人々の幸福を持続的に支える力となり
社会の永続的繁栄に貢献する

Mission

地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い
個人・企業・地域が互いに成長し合う好循環を力強く育む

Vision

東北ブロック中期ビジョン2023～2026
「東北は一つ！～連携から結束へ～」
東北ブロックYEGは　垣根を越えた結束により
情報共有とビジネスの機会を創出し　全単会の発展と地域の未来に貢献する

Value

地域を支える青年経済人として
自発の力・道徳の心・合理の知をもって行動する



商工会議所青年部の歌「伸びゆく大地」

作詞：石井　耕二 / 作曲：石井　歓

1．伸びゆく大地
伸びゆく大地 日本の
拡がる街なみ 青い空
集える仲間は それぞれに
地域を支える 気概持つ
願いをかたちに 変えるため
商工会議所 青年部
求めて我らは 立ち上がる

2．幾山河を
幾山河を 越えていく
道は果てなく 遠いけど
夢追う気持ちは 忘れない
人と人とが 語りあい
心と心を 結ぶため
商工会議所 青年部
時代を我らは 先駆ける

3．自由の海の
自由の海の 渚には
世界の波が 打ち寄せる
歴史の舵は いつの世も
熱ある者が 取ってきた
豊かな郷土を 築くため
商工会議所 青年部
明日に我らは 船出する

目　次

2…　**商工会議所青年部理念体系「YEG WAY」・商工会議所青年部の歌**

4…　**開催要綱**

6…　**ご挨拶**

日本商工会議所　会頭	小林　　健
日本商工会議所青年部　会長	吉田　昌宜
東北六県商工会議所連合会　会長	藤﨑三郎助
東北ブロック商工会議所青年部連合会　会長	金野　隆行
福島県商工会議所連合会　会長	渡邊　博美
福島県商工会議所青年部連合会　会長	堀江　俊介
相馬商工会議所　会頭	草野　清貴
相馬商工会議所青年部　会長	飯塚　哲生
第45回東北ブロック大会　福島そうま大会　大会会長	西村　昌也
第45回東北ブロック大会　福島そうま大会　実行委員長	田河　朋裕

16…　**ご祝辞**

経済産業省東北経済産業局　局長	竹田　　憲
福島県知事	
相馬市長	阿部　勝弘

19…　**大会プログラム**

20…　**記念式典次第**

25…　**ご来賓ご芳名**

26…　**主催者並びに役員・関係者**

27…　**日本商工会議所青年部　令和８年度役員**

28…　**日本商工会議所青年部　令和８年度委員会**

31…　**東北ブロック商工会議所青年部連合会　令和８年度役員**

32…　**東北ブロック商工会議所青年部連合会　令和８年度委員会**

33…　**福島県商工会議所青年部連合会　令和８年度役員**

34…　**東北ブロック大会　福島そうま大会実行委員会組織図**

35…　**東北ブロック大会のあゆみ**

37…　**東北ブロック内単会所在地**

38…　**東北ブロック内単会紹介（青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島）**

53…　**令和８年度　各種大会日程**

54…　**大会等ＰＲ**

59…　**ご協賛企業・団体各位　ご紹介**

日本商工会議所青年部
第45回東北ブロック大会　福島そうま大会
開　催　要　綱

1．目 的
経済・社会環境が大きく変化する中で、企業と地域社会の次代を担う青年経済人が互いに交流と連携の輪を拡げ、企業の発展と豊かな地域社会の形成に果たす商工会議所の役割を認識し、その実現のために青年経済人として何をなすべきかを研究し研鑽することを目的とする。

2．東北ブロック商工会議所青年部連合会スローガン
「ＮＥＸＴ　ＴＯＨＯＫＵ～結束が導く新時代～」

3．日本商工会議所青年部スローガン
「地域経済圏の共創 ～明確な成果を追求する組織への深化～」

4．大会テーマおよび趣旨
「変革 ～いっぺんそうまさ来てくだ祭～」

相馬市は、福島県浜通り北部に位置し、太平洋に面した海と阿武隈高地の山々、そして豊かな里山に囲まれた自然あふれる地域です。古くは相馬藩の城下町として栄え、現在に至るまで、地域の歴史や文化が大切に受け継がれてきました。なかでも、千年以上の歴史を誇る「相馬野馬追」に代表される伝統行事は、相馬の精神文化そのものであり、地域の誇りとして今なお息づいています。

また、相馬は震災と原子力災害という大きな試練を経験しながらも、多くの人々の力によって復興への歩みを進めてきました。そこには、困難な状況においても前を向き、変化を受け入れながら未来を切り拓いてきた相馬ならではの力があります。

相馬大会の大会テーマである「変革（レボリューション）」には、これまでの価値観や慣習にとらわれることなく、地域や組織、そして自らを見つめ直し、新たな一歩を踏み出していこうという想いを込めました。先人たちが築き、守り続けてきた歴史や文化、そして復興の過程で生まれた新たな価値を、私たち青年経済人が次代へとつなぐ「行動」へと昇華させていくことが、本大会の大きな意義であると考えています。

東北ブロック大会福島そうま大会では、大会を通じて相馬の魅力や可能性を広く発信するとともに、参加される皆様が交流や学びを通じて、新たな気づきと挑戦への意欲を持ち帰っていただける場を創出してまいります。この大会が、地域を守り、未来へつなげていくための一つの原動力となることを願い、皆様とともに、相馬の「今」と「未来」を結ぶ大会を創りあげてまいりましょう。

5．主 催
東北ブロック商工会議所青年部連合会
日本商工会議所青年部

6．主 管
相馬商工会議所青年部

7．副主管
福島県商工会議所青年部連合会

8．後 援
経済産業省東北経済産業局／福島県／相馬市／東北六県商工会議所連合会／福島県商工会議所連合会／相馬商工会議所

９．開催日時および場所

●ブロック諸会議・秋の会長会議

日　時：令和８年10月17日（土）　9：00～17：45
場　所：相馬市総合福祉センター
住　所：福島県相馬市小泉字高池357
場　所：相馬商工会議所（東北ブロック役員会のみ）
住　所：福島県相馬市中村字桜ヶ丘71

【絆連携室】　会場：２階　第一会議室　【共創提言委員会】　会場：２階　第二会議室
【NEXTビジョン委員会】　会場：２階　第三会議室　【東北ブロック役員会】　会場：相馬商工会議所 2階 大会議室
【東北ブロック臨時総会】　会場：１階　多目的ホール　【東北ブロック秋の会長会議】　会場：１階　多目的ホール
【日本YEG事業紹介】　会場：１階　多目的ホール

●分科会

日　程：令和８年10月17日（土）・18日（日）
場　所：相馬市内各所、福島第一原子力発電所、福島市、山形県米沢市
第１分科会　内容：福島第一原発視察
第２分科会　内容：ガチ釣りツアー
第３分科会　内容：福相米“うま”くいくツアー
第４分科会　内容：そうまの漁師飯、振舞います
第５分科会　内容：千年続く野馬追の魂に触れる
第６分科会　内容：YEG BUSINESS CONNECT

●ＯＢ・ＯＧサロン

日　時：令和８年10月17日（土）　11：30～16：30
場　所：ホテル飛天、相馬市内
住　所：福島県相馬市和田字中迫104－3

●大懇親会

日　時：令和８年10月17日（土）　18：30～20：30
場　所：相馬原釜地方卸売市場（原釜荷捌施設）
住　所：福島県相馬市尾浜字追川196

●記念事業

日　時：令和８年10月18日（日）　10：00～15：00
場　所：市民のひろば（相馬市民会館駐車場）
住　所：福島県相馬市中村字北町51－１
内　容：東北パクっと総選挙！～東北グルメ地元飯フェス～

●物産展

日　時：令和８年10月18日（日）　10：00～15：00
場　所：市民のひろば（相馬市民会館駐車場）
住　所：福島県相馬市中村字北町51－１
内　容：東北管内の魅力ある特産品を集めた物産展、東北各地域の多彩な魅力を発信します。

●記念講演（アーカイブ配信対応）

日　時：令和８年10月18日（日）　11：30～12：15
場　所：市民のひろば（相馬市民会館駐車場）
住　所：福島県相馬市中村字北町51－１

●記念式典（アーカイブ配信対応）

日　時：令和８年10月18日（日）　13：00～15：00
場　所：相馬市民会館
住　所：福島県相馬市中村字北町51－１



ご挨拶

日本商工会議所
会　頭
小　林　　健

日本商工会議所青年部「第45回東北ブロック大会福島そうま大会」の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

わが国経済は、「変化の時代」に入り、「成長型経済への転換」と「地域経済の好循環」を実現する重要な局面を迎えています。

一方、多くの中小企業は、構造的な人手不足に加え、賃上げに伴う労務費の増加、円安や原材料価格の高騰を背景としたコストプッシュ型インフレ、金利の上昇など、多くの課題に直面しており、業況の二極化が顕在化しています。

また、国際情勢の影響に伴う、原材料・エネルギー価格の高止まりや、サプライチェーンへの影響など、企業経営を取り巻く不確実性は、なお続くことが懸念されます。

こうした中で、中小企業は持続的な賃上げや成長投資の原資を確保し、また、地域には新たな人流や投資、消費を呼び込むことを通じて、「強い地域経済」を実現していく必要があります。その原動力となるのは、「中小企業」と「地域」に他なりません。

今年度、吉田会長は「地域経済圏の共創」をスローガンに掲げ、明確な成果を追求する組織への深化を目指し、さまざまな事業を展開されています。「YEG BUSINESS EXPO 2026」や「ビジネスプランコンテスト」、「国際交流事業」などは、中小企業の新たな挑戦を力強く後押しするものであり、大変心強く感じています。

また、全国各地の青年部も、青年経済人としての資質向上や会員相互の交流、自企業の発展、地域経済社会の健全な成長に向け、積極的な活動を展開されております。こうした活動の積み重ねが、経済の好循環を生み出す推進力であると確信しています。

こうした活動力に溢れ、未来志向のYEGの皆さんにお願いしたいことを３点申し上げます。

１つ目は、「中小企業の『稼ぐ力』の強化」です。

成長型経済を実現するためには、「賃上げ」と「投資」の好循環を持続させることが重要です。その原資をしっかりと確保するためには、価格転嫁はもちろん、企業の自己変革により、付加価値を創出し、さらに拡大していかなければなりません。特に、AIやデジタルについては、単なる活用という段階を超え、経営や事業の在り方そのものを変革する力として取り入れていく時代になっています。他方で、中小企業の実装には、まだハードルが高いという声もあるため、この点は是非とも若い青年部の皆さんに取り組みをリードしてほしいと思っています。

また、地域に貢献する企業や価値ある事業を残すための事業承継も不可欠です。担い手たる青年部の皆さんの新たな発想により、デジタルシフトや企業変革を進めることで、より強く魅力的な企業へと生まれ変わる視点で取り組みを進めてください。

２つ目は、「多様な主体による『価値共創』」です。

中小企業が「変化の時代」に成長していくためには、新事業の展開や新たな分野への進出など、新たな価値を生み出すイノベーションへの挑戦が必要であり、規模や業種の枠を超えた連携が鍵となります。この点については、青年部の皆さんはすでに全国の強いネットワークを築かれています。吉田会長が掲げる「明確な成果」を実現すべく、企業同士や産学官連携など、互いの強みを持ち寄り、「価値共創」の発想を持って、新たな価値を創出してもらいたいと思います。

３つ目は、「地域経済の好循環の推進」です。

人口減少・経済縮小という大きな課題に直面する中で、「強い地域経済」を構築するためには、地域に人と投資、消費を呼び込み、それにより得た付加価値を地域内で循環させることが必要です。

政府においては、今年７月に「地域未来戦略」を策定し、地方自治体ごとに、地域の実情や描く未来を具体化するための計画策定が進められています。これからの地域を担っていくのは青年部の皆さんの世代です。是非とも各商工会議所と連携しながら、皆さんの意見を積極的に地方行政にぶつけていってほしいと思っています。

日本商工会議所は、全国516商工会議所と青年部の皆様の挑戦を全力で後押ししてまいります。

結びに、大会のご成功と、ご参会の皆様のますますのご発展をお祈り申し上げます。



ご挨拶

日本商工会議所青年部
会　長
吉　田　昌　宜

日本商工会議所青年部「第45回東北ブロック大会福島そうま大会」が盛大に開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。また、本大会の開催に向けて、主管YEGである相馬YEGならびに福島県商工会議所青年部連合会の皆様のご尽力に、心より敬意を表します。

YEGの活動は、命に限りある私たちが先人から継ぎ･紡ぎ、次代へと繋げるという人としての営みを、単年度制の中で繰り返し学ばせてくれるものです。しかしながら､単年度制ゆえに活動が内向きとなり、本来の社会的役割である「青年経済組織」としての使命を見失ってはいないでしょうか。経済の語源である「経世済民」は、人々の幸福のために社会を運営することを意味し、YEGはまさにその担い手であるといえます。

日本人らしい勤勉さ、誠実さ、利他の心をもって経済活動を行い、地域の永続を強く願うことこそ、われわれの存在意義であると再認識し、YEGが組織として成熟した今、交流と研鑽のその先に「成果」が求められる時代になったと感じます。成果とは､われわれYEGメンバーの事業所としての成長であり、地域経済の繁栄でありましょう。事業所の経済活動そのものが、新たな価値を創出し、地域経済の繁栄に資すること。これこそがYEG活動の成果、その本質だと思うのです。

大会とは「志を同じくする者が一堂に会する場」。YEGという志を同じくする者が一堂に会し、これからのYEG活動を提示し続け、ブロック内の皆様に共感いただけるブロック大会でありたいと思います。全てのYEGメンバーがリーダーとして、自らを変革し、未来を創る覚悟を持てば、YEGは明確な成果を追求する組織へと深化する。ワクワクする経済活動を、未来を、共に創ってまいりましょう。

東北ブロック大会の開催にあたり多大なご支援・ご尽力をいただきました相馬商工会議所をはじめ関係各位に心から御礼を申し上げ、皆様の企業・地域のますますの発展と、ご家族のより良き未来を祈念してご挨拶といたします。



ご挨拶

東北六県商工会議所連合会
会　長
藤　﨑　三郎助

日本商工会議所青年部第45回東北ブロック大会「福島そうま大会」が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げますとともに、本大会の開催にあたりご尽力されました相馬商工会議所青年部ならびに福島県商工会議所青年部連合会の皆様に深く敬意を表します。

また、東北ブロック商工会議所青年部連合会の皆様におかれましては、東北六県下45の青年部と連携を図り、商工会議所活動の一翼を担う重要な組織として、地域貢献事業などを積極的に展開されながら、東北各地の経済発展に大きく貢献されておりますことは誠にご同慶に堪えません。

さて、昨今の国内経済は、長期にわたる停滞を脱し、成長型経済への移行という大きな構造変化のさなかにあります。一方で、中小企業を取り巻く経営環境は、物価高騰や人手不足の深刻化、さらには不安定な国際情勢などにより、極めて予断を許さない状況が続いております。

東北地域においては、人口減少・少子高齢化の進行に歯止めがかからず、域内需要の縮小や労働力不足といった構造的課題が一層顕在化しています。

また、震災から15年が経過し、岩手・宮城両県におけるインフラや生産設備などのハード面の復旧はほぼ完了しましたが、諸外国で続く輸入規制や、水産業の記録的な不漁、魚種の変化に伴う原材料不足などの課題は依然として残されています。何より、福島県の真の復興には長い年月を要する中で、「なりわいと地域社会の再生」への道筋を確かなものにしてまいらなければなりません。

復興や地域活力の再生に向けては、中・長期的な取り組みを含めた様々な課題が残されておりますが、このような不確実性の高い時代だからこそ、次代を担う青年部の皆様が、地域の将来像を思い描き、ともに活動する仲間を巻き込みながら、力強い経済活動や地域貢献活動に取り組まれることが地域の未来を形づくる上での大きな原動力となるに違いありません。

今後も青年部の皆様におかれましては、この東北ブロック大会を契機にそのネットワーク力をさらに強固なものにしながら、地域を超えた連携や、新たなアイデアとバイタリティ溢れる活動に取り組まれ、力強く地域経済を牽引していくことを期待申し上げます。

最後に、本大会が実り多いものとなりますよう心からお祈り申し上げますとともに、東北ブロック商工会議所青年部連合会の今後益々のご発展と、ご参会の皆様のご健勝・ご活躍をご祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。



ご挨拶

東北ブロック商工会議所青年部連合会
会　長
金　野　隆　行

日本商工会議所青年部 第45回東北ブロック大会福島そうま大会の開催にあたり、東北ブロック商工会議所青年部連合会を代表して一言ご挨拶申し上げます。

まずは、本大会の開催に向けて長期間にわたり準備を重ねてこられた相馬商工会議所青年部の皆様をはじめ、福島県商工会議所青年部連合会、関係諸団体、行政、地域住民の皆様に心より敬意と感謝を申し上げます。

本大会の開催地である相馬の地は、豊かな自然と歴史、そして人と人との絆を大切に育んできた地域です。一方で、東日本大震災という未曾有の災害を経験しながらも、力強く歩みを進め、復興から創造へと挑戦を続けてきました。その姿は私たち東北YEGメンバーに大きな勇気と学びを与えてくれています。

私たちYEGは、「地域経済の発展なくして地域の未来なし」という信念のもと、それぞれの地域で企業経営に励みながら、地域社会の発展に貢献することを使命としています。人口減少や人手不足、物価高騰、地域産業の変革など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。しかし、このような時代だからこそ、青年経済人が同じ志を持ち、地域の枠を超えて学び合い、支え合い、行動していくことが求められています。

東北ブロックYEGは、これまで「東北は一つ」の理念のもと、連携から結束へと歩みを進めてまいりました。本大会は、その結束をさらに強固なものとし、東北各地で活躍する仲間たちが互いの経験や知識を共有し、新たな価値を創造する絶好の機会です。相馬の歴史や文化、人々の想いに触れながら、未来を切り拓くための学びと気づきを持ち帰っていただきたいと思います。

また、本大会を通じて、福島の「今」を自らの目で見て、感じていただくことも大きな意義の一つです。復興の歩みの先にある地域の挑戦や可能性に触れることで、私たち自身の地域づくりや企業経営にも新たな視点が生まれることでしょう。

結びに、本大会が参加されるすべての皆様にとって実り多き研鑽と交流の場となり、それぞれの地域の未来を切り拓く力となることを心より祈念申し上げます。そして、この相馬の地から生まれる新たな出会いと学びが、東北のさらなる発展、そして日本の未来へとつながることを期待し、ご挨拶といたします。



ご挨拶

福島県商工会議所連合会
会　長
渡　邊　博　美

この度、第45回東北ブロック大会福島そうま大会が、多くのご来賓と東北各地の商工会議所青年部の皆様のご出席のもと、盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

また、本年は東日本大震災、福島第一原子力発電所の事故から15年の節目の年でありますが、今日まで未曽有の複合災害に立ち向かいながら、事業継続と地域の発展に貢献してこられた青年部の皆様のお取組みに、心より敬意を表します。

現在の東北地域の商工業者を取り巻く環境は、人口減少・少子高齢化の進行に歯止めがかからず、域内需要の縮小や労働力不足が一層顕在化していることに加え、自然災害の頻発化、復興需要の反動減など、依然として厳しい一方、半導体関連投資の進展や再生可能エネルギー分野の拡大、観光需要の回復など、新たな成長の芽が着実に育っております。

こうした「不確実性の高まり」と「構造転換」に直面している今、青年部の皆様には、伝統を守りつつも、大会のテーマに掲げる「変革（レボリューション）」実現の原動力となり、地域経済を牽引するような情報発信や活動が求められているところです。

本会の開催地である相馬市は、福島県浜通り北部の沿岸部に位置し、日本百景の松川浦などの美しい自然を誇り、国の重要無形民俗文化財である「相馬野馬追」、相馬藩の保護育成のもと発展した「大堀相馬焼」、悠久の歴史を今に伝える「相馬民謡」など、城下町としての豊かな伝統文化が息づいています。太平洋の穏やかな気候が育む特産品も数多く、近年は「原釜常磐もの」と称されるホッキ貝や青のり、最高鮮度のトラフグ「福とら」などの海産物が市場で高く評価され、今もなお続く当県産品への風評の払拭や、東北の観光振興の起爆剤となることが期待されております。

ご参会の皆様におかれましては、本大会、分科会を通じ、当県の復興のあゆみと現状、産業、伝統、自然の素晴らしさをご体感いただくとともに、他地域の会員との交流と連携の深化が、今後のビジネスや青年部事業の大きな糧となることを心より願っております。

福島県商工会議所連合会といたしましても、引き続き青年部の皆様との連携を深め積極的にご支援し、地域経済の発展に力を尽くしてまいる所存であります。

結びに、本大会の開催にあたり、ご尽力、ご協力を賜りました関係各位に深く感謝を申し上げますとともに、東北ブロック大会のますますのご発展と皆様のご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



ご挨拶

福島県商工会議所青年部連合会
会　長
堀　江　俊　介

日本商工会議所青年部第45回東北ブロック大会「福島そうま大会」が、豊かな自然と古くから続く伝統に彩られた福島県相馬の地において盛大に開催されますことを、福島県商工会議所青年部連合会を代表し、また同じ福島県に居を構える一員として、心よりお慶び申し上げます。

本大会の開催にあたり、事業の計画から実施に至るまでの様々な折衝や、事業周知のために東北６県45単会を回るキャラバンなど、並々ならぬ熱意をもってご尽力いただいた主管・相馬YEGの西村昌也大会会長をはじめとする会員の皆様、ならびにご指導とご協力を賜りました関係各位に対し、深く敬意と感謝の意を表します。

「常磐もの」として知られる滋味豊かで活きの良い魚が水揚げされる相馬港を抱える相馬市。この地で催される本大会は、「変革（レボリューション）～いっぺんそうまさ来てくだ祭～」をテーマに掲げております。ここ相馬は、東日本大震災をはじめとする度重なる自然災害や、少子高齢化、過疎化といった社会情勢の変化など、幾多の困難に直面しながらも、地域の熱く固い絆と不屈の精神をもって力強く乗り越えてまいりました。脈々と受け継がれる「相馬野馬追」の精神のように、歴史を尊びながらも時代に合わせて歩みを進める相馬の姿こそ、いま私たち青年経済人に求められる「変革」そのものであると感じております。

現在、私たちを取り巻くビジネス環境は、AIの進化をはじめとするDXの進展や人手不足など、激しい変化の渦中にあります。このような時代だからこそ、東北各地から集う同志が互いに研鑽を積み、地域や企業の枠を超えて深く交流し、連携の輪を広げることが極めて重要です。日本YEGが掲げる「地域経済圏の共創」というビジョンのもと、この相馬の地で得られる新たな気づきや学び、熱い絆が、各地域の経済活動の原動力となり、豊かな未来社会を形作る強固な礎となることを確信しております。

私たち福島県商工会議所青年部連合会も、副主管の大役を主管である相馬YEGと共に精一杯果たし、東北ブロックの全会員が一丸となって歩むこの変革への第一歩を全力で支え、共に未来へと突き進んでまいる所存です。

結びに、本大会が、ご参加されるすべての皆様の社業の発展と新たな挑戦への素晴らしい契機となりますことを祈念いたしますとともに、相馬商工会議所青年部ならびに東北ブロック商工会議所青年部連合会の同志が手を携え、共に創り、共に走る未来を紡いでまいりましょう。



ご挨拶

相馬商工会議所
会　頭
草　野　清　貴

日本商工会議所青年部第45回東北ブロック大会福島そうま大会が、この相馬の地で盛大に開催されますことを心より歓迎申し上げます。また、各御来賓や東北各地からご参集いただく多くの青年経済人の皆様に、心から感謝と歓迎の意を表します。

本大会のテーマは「変革（レボリューション）～いっぺんそうまさ来てくだ祭～」。この言葉には、未来への挑戦と、相馬の魅力を存分に感じていただきたいという青年部メンバーの熱い想いが込められています。

相馬市は、東日本大震災に加え、その後も幾度となく大きな地震や自然災害に見舞われてきました。そのたびに地域経済は厳しい局面を迎えましたが、私たちは決して歩みを止めることなく、市民・事業者･行政が力を合わせ、一歩一歩復興への道を切り拓いてまいりました。その歩みを支えてきたのは、「地域をもっと良くしたい」という人の力であり、挑戦する心であります。

今回、人口32,000人足らずの相馬市で、1,000人を超える皆様をお迎えすることは決して容易な挑戦ではありませんでした。大規模なコンベンション施設もなく、懇親会場には漁協のセリ場を活用するなど、知恵と工夫を積み重ねながら準備を進めてまいりました。その過程では、多くの議論があり、困難もあったと聞いております。しかし、その一つ一つを乗り越え、青年部が心を一つにして今日の日を迎えられたことを、親会として誇りに思います。

時代は大きく変化しています。人口減少、人手不足、物価高騰など、地域経済を取り巻く課題は山積しています。しかし、地域の未来を切り拓くのは、常に「変革」を恐れず挑戦する青年の力です。青年経済人の情熱と行動力は、地域企業を変え、地域社会を変え、やがて日本の未来をも変える大きな原動力になるものと確信しております。

本大会が、東北各地で活躍する青年経済人の皆様にとって、新たな学びと友情、そして未来への勇気を得る機会となることを心より願っております。そして、相馬の歴史や豊かな海の幸、人の温かさ、幾多の困難を乗り越えてきた力強さに触れ、「また相馬を訪れたい」と感じていただければ、これほど嬉しいことはありません。

相馬だからできたのではありません。『やろう』と決意した青年たちがいたから実現した大会です。人口や施設の規模ではなく、地域を愛し、未来を切り拓こうとする志こそが、人を動かし、地域を変える力になることを、この福島そうま大会は示してくれるものと確信しております。

どうか皆様には、この相馬で得られた経験や仲間との絆、そして「できない理由を探すのではなく、できる方法を考える」という挑戦の精神を、それぞれの地域へ持ち帰り、新たな変革の種として育てていただくことを心から期待しております。

結びに、本大会の開催にあたり、ご尽力いただいた相馬商工会議所青年部をはじめ、関係者の皆様に深く敬意を表するとともに、ご来訪いただくすべての皆様の実り多き大会となりますことをご祈念申し上げ、歓迎のごあいさつといたします。



ご挨拶

相馬商工会議所青年部
会　長
飯　塚　哲　生

日本商工会議所青年部第45回東北ブロック大会　福島そうま大会を開催するにあたり、多くの関係者の皆様よりご支援とご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。また、多くの皆様に相馬の地へお越しいただきましたこと、多くのご登録を頂戴しましたこと、心より歓迎と感謝を申し上げます。

本大会を主管させていただくにあたり、私たち相馬YEGは、【変革】～いっぺん　そうまさ　来てくだ祭～をテーマに掲げました。

相馬という小さな町の、小さな単会がどのようにして、この東北ブロック大会を成功に導いていくかに奮闘しました。

先ずは、我々相馬のメンバー一人一人が傍観者ではなく、当事者になる、プレイヤーになることを掲げました。一人一人が自分の中に【変革】を起こしていく、そのような気概で臨んでいきながら、準備を進めて参りました。

もちろん、順風満帆に準備が進んでいったわけではありません。大小の衝突を繰り返しながら試行錯誤を繰り返してきました。本大会でも至らない点があるかと思います。それでも我々は今日までに様々なチャレンジをしながら、準備を重ねて参りました。

その中で、新たな取り組みとして、「福島県連」の協力を頂いた点です。

私たちの福島県連は40周年を迎えました。40年という先輩方が築いてきた歴史の中で、強い絆で結ばれた、福島県連に、多くの場面で協力をいただいたこと、この場を借りて御礼申し上げます。

一つの単会だけでは、成しえなかった本大会、新たな大会の道筋の一つとしてお示しできたのではないかと思っています。

また、この大会が、ゴールではなく、新たなスタートだと、位置付けています。

まだ見ぬ、未来のYEGのため、未来永劫、このYEGが続いていきますように、この45回大会が【変革】の大会で締めくくれますこと関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

東日本大震災から、15年、ネガティブなイメージから、ポジティブな前向きな、この相馬の、この福島の“今”を感じていただけたら幸いです。

～いっぺん　そうまさ来てくだ祭～

いかがだったでしょうか。

再び何度でも、相馬の地でお会いできますことを御祈念申し上げ、私からのご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



ご挨拶

第45回東北ブロック大会　福島そうま大会
大会会長
西　村　昌　也

「変革」

このテーマには、古き良きものを、今あるものを、さらに良くしたいという願いを込めました。かっこよく聞こえるかもしれませんが、正直に言うと、そんなにきれいな話でもありません。

相馬は、常磐ものと呼ばれる海の幸が豊かで、一千年続く野馬追の歴史と文化に恵まれた街です。それでも2011年の東日本大震災や、幾度もの自然災害で、心が折れそうになったことが何度もありました。それでも今、私は笑っています。この仲間たちと一緒に歩んでこられたからです。

本当のことを言うと、この大会も、最初は仲間と花見をして、他愛のない話をしていたのが始まりです。理屈より先に、まず人が集まって笑い合って、それから「じゃあやってみるか」となりました。ひとりでは、ここまで来られませんでした。だからこそ相馬一単会だけでなく、福島県青連10単会の仲間と一緒に、福島そのものを全国にPRしたいと考えています。

分科会の「福相米“うま”くいくツアー」には、その想いを込めました。福島・相馬・米沢と、県境を越えてつながる三つの土地を巡りながら、私たちが一つになって歩んできた証を、肌で感じていただきたいのです。ほかにも福島第一原発の視察やガチ釣りで相馬の恵みを、記念事業の市民参加型グルメフェス「東北パクっと総選挙！」で東北六県自慢の地元飯を堪能、OB・OGサロンではゆったり語らう時間も、ご用意しています。

今回、初めて土日開催にしたのにも理由があります。日曜日なら参加できるというメンバーや地元の方も、きっといるはずです。平日を外すことで、そういう方々にも関わっていただける機会をつくりたかった。根っこにあるのは、「挑戦」と「愛」です。相馬は人口３万２千人の、決して大きくない街です。だからこそ、無理に背伸びをした大会ではなく、地方だからできる、緩やかで温かい大会にしたいと思っています。

青年経済人として、時代の変化に応え、地域と共に育つ。当たり前のことを、当たり前と言えなくなった十数年でした。だからこそ、ここで原点を確かめ合いたいのです。企業を、地域を、自分自身を良くしたいと願う仲間と、この相馬で肩を並べる。それだけで、もう一歩、前に進めると信じています。

東北の底力を、全国に見せましょう。相馬大会にお越しくださった皆様に、「来てよかった」「自分も変われた」と思っていただける一日をお約束します。相馬の地で、皆様との交流を心よりお待ちしております。

――ここまで来られたのは、皆様のおかげです。心から、ありがとうございます。



ご挨拶

第45回東北ブロック大会　福島そうま大会
実行委員長
田　河　朋　裕

日本商工会議所青年部「第45回東北ブロック大会 福島そうま大会」の開催にあたり、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、東北ブロック各単会をはじめ、全国各地よりお越しいただきましたYEGの皆様、そして本大会の開催にご尽力いただいたすべての関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

相馬YEGは、決して会員数の多い単会ではありません。そのような私たちが東北ブロック大会の開催に挑戦することには、不安や迷いもありました。しかし、仲間と話し合い、一つひとつ課題を乗り越える中で、単会の規模に関係なく、力を合わせれば大きな事業を成し遂げられることを実感しました。大会に向けた準備の時間は、私たちにとって大きな学びと成長の機会となりました。

私たちが暮らす相馬市は、東日本大震災をはじめ、度重なる自然災害に見舞われてきました。それでも地域の人々は互いに支え合いながら、復興と新たなまちづくりに取り組んできました。本大会では、これまで相馬を支えてくださった皆様への感謝をお伝えするとともに、復興の歩みの中で生まれた地域の魅力や、人の温かさを感じていただきたいと考えております。

今回の大会テーマである「変革」には、福島そうま大会での出会いや学びを通じて、一人ひとりが前向きな気持ちになり、地域や社業をより良くするための一歩を踏み出していただきたいという想いも込めています。本大会が、皆様にとって新たな気づきや行動のきっかけとなり、それぞれの心の変革につながる大会になることを願っております。

大会を多くの皆様に知っていただくため、PRキャラバンも行ってまいりました。各地の例会や懇親会などで貴重なお時間をいただき、温かく迎えてくださったことに深く感謝しております。訪問先では、久しぶりの再会だけでなく、多くの新しい出会いにも恵まれました。地域や単会は違っても、地域をより良くしたいという想いや、仲間を大切にする心は同じであると感じました。皆様からいただいた励ましの言葉や笑顔は、準備を進める私たちの大きな力となりました。

結びに、大会開催に向けて共に歩んできた相馬YEGの仲間、支えてくださったご家族、先輩方、そしてすべての関係者の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。本大会で生まれた出会いとつながり、そして大会を通じて得た学びや想いを、次なる第46回東北ブロック大会古川大会へ、しっかりとつないでまいります。



ご祝辞

経済産業省東北経済産業局
局　長
竹　田　　憲

日本商工会議所青年部第45回東北ブロック大会福島そうま大会が、多くの皆様の御尽力と御協力のもと、盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

東北ブロック商工会議所青年部連合会及び各地の商工会議所青年部の皆様におかれましては、日ごろから、地域を代表する青年経済人として、商工業の振興、異業種の交流、賑わいづくりなど、地域の活性化に御尽力をいただいておりますことを感謝申し上げます。

本大会の開催地である福島県相馬市を含む相双地方は、千年を超える歴史を持つ相馬野馬追をはじめ、豊かな伝統文化と地域資源を引継ぎながら発展をしてきた地域であります。地域に受け継がれた歴史や文化、自然や食といった魅力を存分に活かして、企画をまとめられた相馬商工会議所青年部の皆様には、深く敬意を表する次第です。

本大会のテーマである『変革』は、変化を受け入れ、新たな価値の創造に挑戦するという強い意思を示すものであり、地域の未来を担う青年経済人の皆様にふさわしい力強いメッセージであると感じております。

日本の大きな伸び代は地方にあります。政府では、地方から日本を成長軌道に押し上げていくため、大胆な投資を促進し、新たな産業基盤の形成や、地域資源を活かした地場産業の成長につながる地域未来戦略を進めてまいります。

さらに、人手不足など厳しい経営環境においても稼ぐ力を高め、持続的な成長を後押しするため、事業再構築・生産性向上・事業再編等の変革に挑む企業の支援に取り組みます。

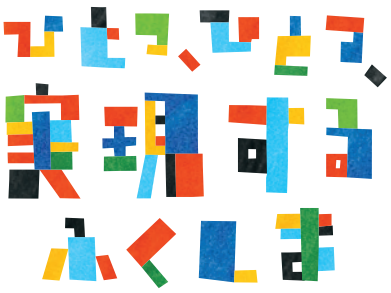
こうした政策は、本大会のテーマである『変革』とも軌を一にするものと感じます。

東北経済産業局としましては、各地で活躍される青年経済人の皆様の、創意と行動による、魅力あふれる地域の未来を切り拓く挑戦に対して、しっかりと応援してまいりたいと考えております。

本大会を契機として、東北各地の青年経済人の皆様の交流がさらに深まり、それぞれの地域に成果をしっかりとお持ち帰りいただけることを心から御期待申し上げます。

結びに、本大会の御盛会及び各地の商工会議所青年部の益々の御発展と御健勝を祈念して、お祝いの言葉といたします。

ご祝辞



福島県知事

日本商工会議所青年部第45回東北ブロック大会が、相馬市で盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、東北各県から御来県の皆様を心から歓迎いたします。

皆様におかれましては、日頃から地域を支える青年経済人として、商工業の振興・発展はもとより、地域経済の発展のために積極的に活動されており、深く敬意を表します。

震災と原発事故から15年半余が経過する中、県民の皆さんの懸命な御努力と国内外からの温かい御支援により、福島の復興は着実に前進しております。

また、「ふくしまの酒」が、２年連続で金賞受賞数日本一を達成したほか、観光客入込数や移住者数が過去最多を記録するなど、地域の皆様の御努力が着実に実を結び始めているところです。

一方で、避難地域の復興・再生に加え、急激に進む人口減少や長引く物価高への対応など、いまだ多くの困難な課題を抱えております。

こうした中、福島県では、県内中小企業の皆様の「稼ぐ力」の強化を図り、持続的な賃上げによる個人消費の拡大や設備投資の増加による企業活動の活発化などを通じて、地域経済の好循環の実現に努めるとともに、「『感働！ふくしま』プロジェクト」を強力に推進し、産業人材の確保につなげていくことで、県内の経済・産業の更なる発展を目指してまいります。

皆様におかれましては、本大会のテーマである「変革（レボリューション）～いっぺんそうまさ来てくだ祭～」に込められた、従来の価値観にとらわれることなく地域や組織、そして自らを見つめ直し、未来に向けて新たな一歩を踏み出していこうという志のもと、連携を一層深め、若さと情熱ある行動により地域経済の発展と新たな活力の創出に向けて御活躍されますことを御期待申し上げるとともに、商工業の振興や地域の発展に一層のお力添えをお願い申し上げます。

ここ相馬市は、松川浦に代表される美しい海と豊かな自然、相馬中村藩の歴史を受け継ぐ文化が息づく地域であり、相馬野馬追をはじめとする伝統行事が今なお大切に継承されております。震災からの復興も着実に進み、地域の活力が高まってきておりますので、皆様には、この機会に相馬市ならではの魅力に触れていただければ幸いです。

結びに、日本商工会議所青年部及び東北ブロック商工会議所青年部連合会の今後のますますの御発展と、本大会御参加の皆様の御健勝を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



ご祝辞

相馬市長
阿　部　勝　弘

日本商工会議所青年部　第45回東北ブロック大会　福島そうま大会の開催、心よりお慶び申し上げます。本大会にご参加いただく東北各地からお集まりの皆様を、相馬市を代表して心から歓迎申し上げます。

日本商工会議所青年部の皆様方には、地域経済の活性化と地域振興に多大なご尽力をいただいております。その活動は、地域の未来を切り拓く力となり、地方から日本全体への発展を牽引する役割を果たしております。この度の第45回東北ブロック大会が、相馬市で開催されることを心より嬉しく思います。大会の開催に向けてご尽力いただきました関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。

相馬市は福島県浜通り北部に位置し、太平洋に面した海と阿武隈高地の山々、そして豊かな里山に囲まれた自然あふれる町です。千年以上の歴史を誇る「相馬野馬追」をはじめとする伝統行事や、城下町として築かれてきた歴史、文化が現在も受け継がれております。近年では「福とら」と命名しブランド化されたトラフグや、ホッキ貝、あおさのりなどの海の幸が地域の魅力となっています。また、スポーツツーリズムを通じて、訪れる人々に多種多様な楽しみを提供し、交流を育んでいます。

東日本大震災や近年の地震・大雨災害という試練を乗り越えてきた相馬市は、地域の団結力とその強靭な精神が何よりの誇りです。そこには、先人たちが築き上げた文化を守る決意、そして未来に向けた変革への挑戦が息づいています。今回の大会テーマ「変革（レボリューション）」には、これまでに培われた価値観や習慣を見つめ直し、新しい一歩を踏み出す力強い意志が込められていると感じております。

本大会を通じて、相馬市の魅力を多くの皆様に知っていただき、歴史や文化、地域資源の豊かさを共有し、新たな可能性を見つけ出せる場となることを願っています。また、参加者の皆様による交流が、地域や組織の発展に向けた新しい基盤となることでしょう。相馬市としても、この大会が皆様の未来を照らす契機となるよう、全力でおもてなしさせていただきます。

結びに、本大会のご盛会を心よりお祈りするとともに、日本商工会議所青年部のますますのご発展と、参加者の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げ、祝辞とさせていただきます。

大会プログラム

令和８年10月17日(土)
東北ブロック諸会議・秋の会長会議・分科会・大懇親会

内　　容	時　　間	会　　場
○東北ブロック各種委員会	9：00～10：30 (受付8：30～相馬市総合福祉センターロビー)	相馬市総合福祉センター
○東北ブロック役員会	11：00～12：30	相馬商工会議所 大会議室
○東北ブロック臨時総会	13：00～13：30	相馬市総合福祉センター
○東北ブロック秋の会長会議	13：45～16：45	相馬市総合福祉センター
○日本YEG事業紹介	16：45～17：45	相馬市総合福祉センター
○第１分科会（１便目）	9：00～16：00 (受付8：30～スポーツアリーナそうま駐車場)	福島第一原子力発電所
（２便目）	10：00～17：00 (受付9：30～スポーツアリーナそうま駐車場)	福島第一原子力発電所
○第２分科会	3：00～14：00 (受付2：30～カネヨ水産)	相馬市近海
○第３分科会	9：30～17：00 (受付9：00～スポーツアリーナそうま駐車場)	相馬市、福島市、山形県米沢市
○OB・OGサロン	11：30～16：30 (受付11：00～スポーツアリーナそうま駐車場)	ホテル飛天、相馬市内
○大懇親会	18：30～20：30 (受付18：00～相馬原釜地方卸売市場)	相馬原釜地方卸売市場

令和８年10月18日(日)
記念事業・分科会・記念講演・記念式典

内　　容	時　　間	会　　場
○記念事業	10：00 ～ 15：00	市民のひろば (相馬市民会館駐車場)
○物産展	10：00 ～ 15：00	市民のひろば (相馬市民会館駐車場)
○第４分科会	8：30 ～ 12：30 (受付8：00～相馬市中央公民館)	相馬市内
○第５分科会	8：30 ～ 10：30 (受付8：00～相馬市中央公民館)	相馬中村神社
○第６分科会	10：00 ～ 12：00 (受付9：30～相馬市中央公民館)	相馬市中央公民館
○記念講演	11：30 ～ 12：15	市民のひろば (相馬市民会館駐車場)
○記念式典	13：00 ～ 15：00 (受付12：00～相馬市民会館ロビー)	相馬市民会館

記念式典次第

令和８年10月18日（日） 13：00～15：00
相馬市民会館大ホール

司会：株式会社セント・フォース
フリーアナウンサー 渡部 有

１．ブロック旗入場
２．開会宣言 第45回東北ブロック大会 福島そうま大会 実行委員長 田河 朋裕
３．国歌「君が代」斉唱
４．商工会議所青年部の歌「伸びゆく大地」斉唱
５．商工会議所青年部 理念体系「YEG WAY」朗読・唱和
福島県商工会議所青年部連合会 会長 堀江 俊介
６．主催者挨拶
東北ブロック商工会議所青年部連合会 会長 金野 隆行
日本商工会議所青年部 会長 吉田 昌宜
日本商工会議所 会頭 小林 健
７．開催地商工会議所会頭挨拶 相馬商工会議所 会頭 草野 清貴
８．主管地青年部代表挨拶 相馬商工会議所青年部 会長 飯塚 哲生
９．大会会長挨拶 第45回東北ブロック大会 福島そうま大会 会長 西村 昌也
10．来賓祝辞
福島県知事
相馬市長 阿部 勝弘 様
経済産業省 東北経済産業局 局長 竹田 憲 様
11．来賓紹介
12．OB・OG紹介
13．祝電披露
14．主催者紹介
15．参加商工会議所青年部紹介
16．登録者数発表 経済波及効果速報値発表
17．令和９年度東北ブロック商工会議所青年部連合会 会長発表
18．令和９年度開催地および主管商工会議所青年部発表
19．ブロック旗伝達式
20．第46回東北ブロック大会開催地PR
21．第44回全国リーダーズ研修会PR
22．第46回全国大会PR
23．閉会宣言 第45回東北ブロック大会 福島そうま大会 副実行委員長 小幡 広宣



第 1 分科会

～ あれから15年、今の福島。～

福島第一原子力発電所 視察と生まれ変わる町を知る

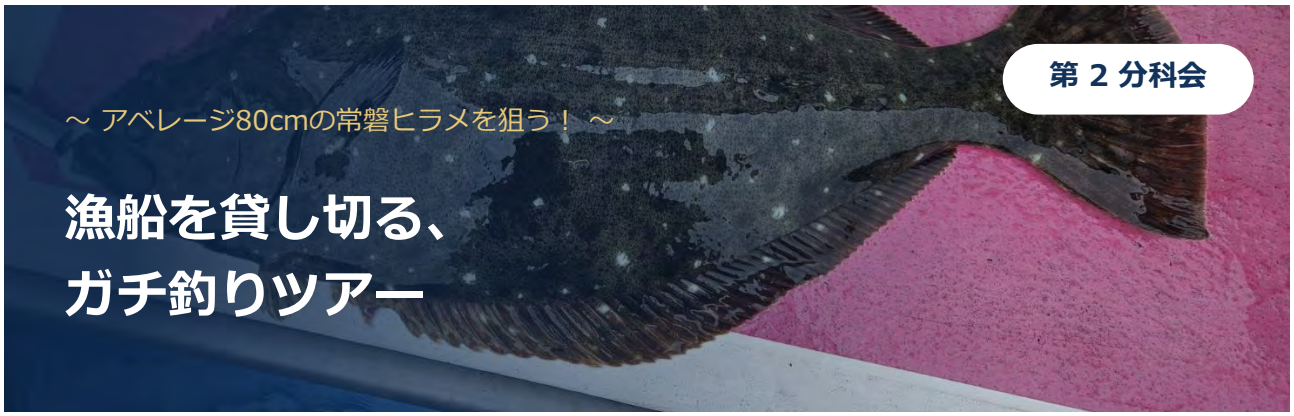
福島第一原子力発電所を視察し、事故の経緯や廃炉の進捗、環境回復に向けた現在の取り組みについて、現地で説明を受けます。東京電力廃炉資料館で学んだうえで、実際に爆発が起きた場所へ立ち入り、報道だけでは伝わりにくい復興の現実と課題に向き合います。昼食は道の駅なみえで、常磐物のシラス丼となみえ焼そばを。

※ 2便制です（第1便 9:00～16:00／第2便 10:00～17:00・各40名）。ご参加には身分証明書の原本が必要です。18歳未満および妊娠中の方はご参加いただけません。



＼ 処理水を保管するタンク群 ／

日 時	定 員	登録料
10月17日（土）9:00～17:00（2便制）	80名	8,000円



第 2 分科会

～ アベレージ80cmの常磐ヒラメを狙う！ ～

漁船を貸し切る、ガチ釣りツアー

相馬市の漁船を貸し切り、実際に海へ出る体験型分科会。遊漁船「アンフィニー」を12名限定で貸し切り、アベレージ80cmの常磐ヒラメを狙います。海上から相馬の沿岸風景や漁港の様子を体感し、陸上とは異なる視点で「海のまち相馬」の魅力に触れていただきます。釣果はその日のうちにお持ち帰りいただけます。

※ 釣具はご持参ください（レンタルはありません）。風や海の状態により中止となる場合があります。



＼ 両手で抱えるサイズの常磐ヒラメ ／

日 時	定 員	登録料
10月17日（土）※出航時間は前日にご連絡	12名	20,000円



第 3 分科会

～ 福相米 “うま”くいくツアー ～

午年に、馬のストーリーを たどる周遊バスの旅

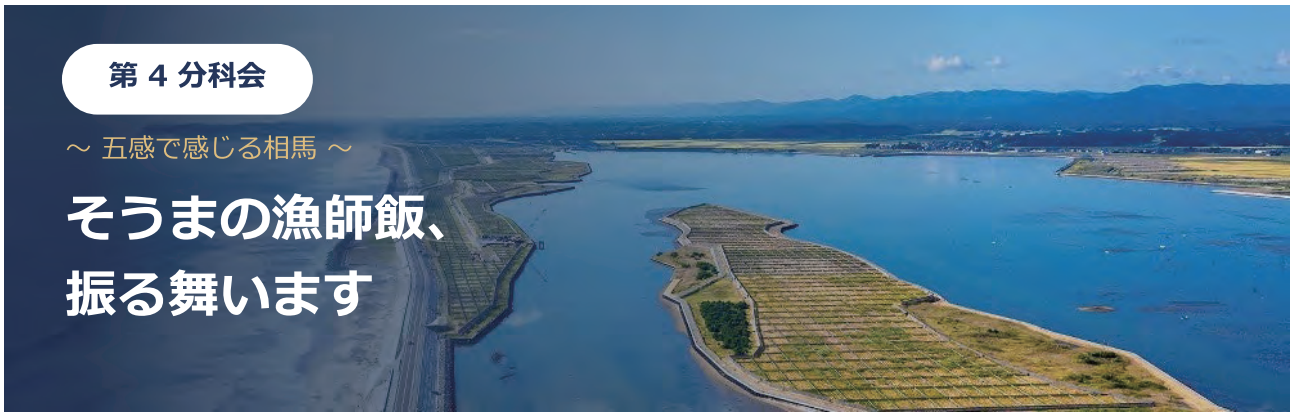
東北中央自動車道で結ばれる福島・相馬・米沢を大型バスで巡る周遊型分科会。令和8年の午年に因み、三都市に息づく「馬」のストーリーをたどります。福島競馬場を自由散策！馬券購入で競馬の醍醐味も体験。前田慶次ゆかりの米沢・善光寺での社業必勝祈願、道の駅での「うまいもの」を堪能。馬がもたらす運気と活力を手に入れる、福相米合同企画のストーリー型ツアーです。

※ 歩きやすい靴と上着をご用意ください。競馬場での体験内容は当日の開催状況により変更となる場合があります。



＼ 道の駅米沢（上杉の城下町） ／

日 時	定 員	登録料
10月17日（土）9:30～17:00	40名	8,000円



第 4 分科会

～ 五感で感じる相馬 ～

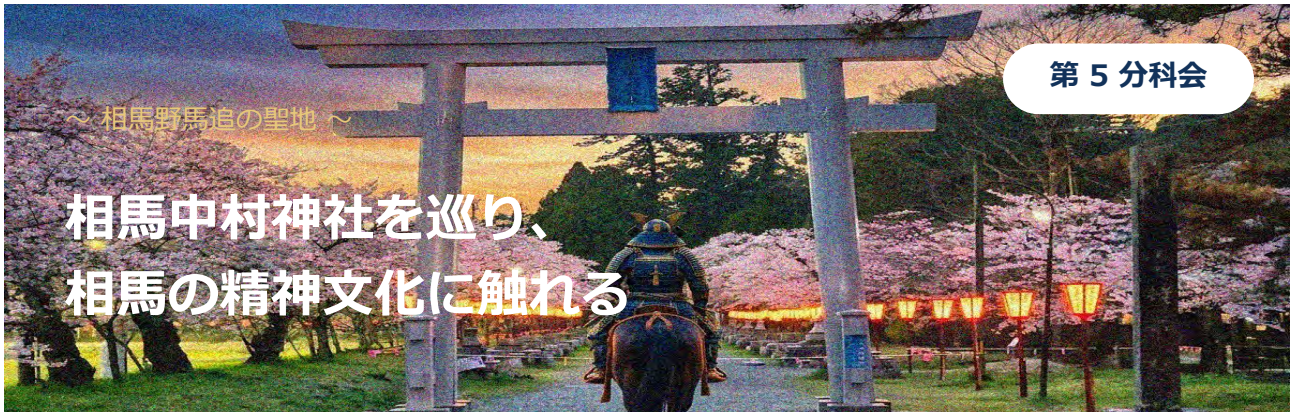
そうまの漁師飯、振る舞います

相馬市観光協会の語り部が、震災当日の体験から復興への15年、そして漁業復活の歩みを語ります。その後、日本百景・松川浦自然公園と恋人岬を巡り、相馬双葉漁協女性部による本物の漁師飯を振る舞います。聴いて、見て、触れて、食べる。相馬の15年を五感で受け取る体験型分科会です。



＼ 漁協女性部による本物の漁師飯 ／

日 時	定 員	登録料
10月18日（日）8:30～12:30	40名	4,000円



千年以上の歴史を誇る「相馬野馬追」の聖地、相馬中村神社を巡る分科会。旧相馬中村藩主家 第33代当主 相馬和胤（かずたね）公の御長男・相馬行胤（みちたね）氏の特別案内による参拝、また、本殿での特別祈祷を通じて、相馬の歴史と精神文化を深く体感できます。



日 時	定 員	登録料
10月18日（日）8:30～10:30	40名	5,000円



YEG メンバーとの新たなビジネス連携を目指し、３つのプログラムを実施します。経営者同士によるグループディスカッションを通じて、自社の強みを発見・再構築。異業種の視点から新しい可能性を引き出します。
自分では当たり前だと思っていた価値が、他の経営者から見ると新しいビジネスの種かもしれません。



日 時	定 員	登録料
10月18日(日)10:00～12:00	30名	1,000円



OB・OGサロン



【日時】
10/17(土)
11:30～16:30

ホテル飛天

これまでの青年部活動を支えてこられたOB・OG会員の皆様に近年、新たなブランドとして注目される原釜常磐物「フグ」をメインにした豪華料理、風光明媚な松川浦を望む名湯でリフレッシュ、復興のシンボル「浜の駅松川浦」でのお買い物など、相馬の不屈の精神と豊かな文化を体感していただきます。

大懇親会



10/17(土)　18:30～20:30

相馬原釜地方卸売市場

実際に競りが行われる現場で、相馬の「常磐もの」を味わいながら復興の最前線に立つ浜の熱量を存分にご堪能ください。



東北のうまいもの、いいもの、相馬に集結。

物産展

REGIONAL SPECIALTY FAIR

【日時】
10月18日(日) 10:00～15:00

【場所】
市民のひろば(相馬市民会館駐車場)

ご来賓ご芳名

10月2日現在

経済産業省東北経済産業局　局長	竹田　憲　様
福島県知事	
相馬市長	阿部　勝弘　様
衆議院議員	坂本竜太郎　様
衆議院議員	西山　尚利　様
衆議院議員	上杉謙太郎　様
衆議院議員	金子　恵美　様
参議院議員	森　まさこ　様
参議院議員	星　北斗　様
福島県議会　議員	荒　秀一　様
福島県相双地方振興局　局長	高橋　和司　様
相馬市議会　議長	杉本　智美　様
相馬市議会　産業建設常任委員長	只野　敬三　様
相馬市産業部　部長	伊東　充幸　様
福島県商工会議所連合会　会長 福島商工会議所　会頭	渡邊　博美　様
郡山商工会議所　会頭	今泉　守顕　様
いわき商工会議所　会頭	正木　好男　様
白河商工会議所　会頭	鈴木　俊雄　様
原町商工会議所　会頭	遠藤　充洋　様
会津喜多方商工会議所　会頭	佐藤富次郎　様
須賀川商工会議所　会頭	菊地　大介　様
須賀川商工会議所　副会頭	安田　喜好　様
二本松商工会議所　会頭	菅野　京一　様
福島県商工会議所女性会連合会　会長	須藤　康子　様
新地町商工会　会長	田村　民雄　様
新地町商工会青年部　部長	齋藤　繁　様
旧相馬中村藩主家	相馬　行胤　様
相馬消防署　署長	持舘　正和　様

主催者並びに役員・関係者

日本商工会議所　会頭	小林　健
日本商工会議所青年部　会長	吉田　昌宜
東北ブロック商工会議所青年部連合会　会長	金野　隆行
相馬商工会議所　会頭	草野　清貴
相馬商工会議所　副会頭	菊地　逸夫
相馬商工会議所　副会頭	梅澤　国夫
相馬商工会議所　副会頭	松本　壹雄
相馬商工会議所　専務理事	吉田　一直
相馬商工会議所　商業部会長	西村　年晴
相馬商工会議所　建設業部会長	植村　賢二
相馬商工会議所　サービス業部会長	我妻　大
相馬商工会議所　水産業部会長	稲村　利公
相馬商工会議所女性会　会長	松本　晴美

日本商工会議所青年部

令和８年度　役員

役　職　名	氏　名	所属道府県連	所属単会
会長	吉田　昌宜	福　岡	久留米
直前会長	小野知一郎	石　川	小　松
筆頭副会長	中川　　誠	群　馬	伊勢崎
副会長（東地区）	吉田　一成	福　島	郡　山
副会長（中地区）	篠田　佳宗	愛　知	刈　谷
副会長（西地区）	仲宗根清二	沖　縄	宮古島
専務理事	小林　政嗣	広　島	福　山
北海道ブロック代表理事	岡村　　賢	北海道	函　館
東北ブロック代表理事	金野　隆行	山　形	鶴　岡
関東ブロック代表理事	本間　恒弘	茨　城	日　立
北陸信越ブロック代表理事	山﨑　　亮	長　野	須　坂
東海ブロック代表理事	西山　裕貴	三　重	松　阪
近畿ブロック代表理事	倉橋　　豊	福　井	武　生
中国ブロック代表理事	鳥越　直之	岡　山	津　山
四国ブロック代表理事	中山　貴史	高　知	宿　毛
九州ブロック代表理事	大橋　正明	福　岡	柳　川
副専務理事	堰　　大輔	島　根	松　江
専務理事補佐	清水　亮佑	埼　玉	さいたま
専務理事補佐	宮田　清孝	石　川	七　尾
常務理事	桑原　　務	茨　城	下　館
常務理事	森田　孝介	富　山	富　山
常務理事	小林　大樹	長　野	須　坂
常務理事	中村　　守	奈　良	奈　良
常務理事	牟田　礎麗	宮　崎	小　林
総務委員長	髙根いずみ	秋　田	大　曲
広報ＤＸ委員長	久保田善文	和歌山	和歌山
企画委員長	林　　千晃	岐　阜	恵　那
研修委員長	髙橋　晋也	福　島	郡　山
組織強化委員長	星崎　政和	愛　知	大　府
理念形成委員長	栗林　延年	北海道	釧　路
提言委員長	水取　博隆	大　阪	泉佐野
ＹＥＧ経済圏構築委員長	国府田俊輔	埼　玉	さいたま
ビジネス推進委員長	伊藤　一樹	岩　手	一　関
スタートアップ支援委員長	小出　和之	愛　知	岡　崎
国際ビジネス委員長	塚本　浩史	群　馬	藤　岡
グローバルネットワーク委員長	富田　晋介	愛　知	安　城
全国大会担当理事	岡田　充貴	奈　良	奈　良
全国リーダーズ研修会担当理事	横山　昌司	沖　縄	宮古島
監事	倉嶋　慶秀	群　馬	太　田
監事	高橋　正浩	石　川	七　尾
相談役	吉川　裕太	秋　田	秋　田
代表理事	岩本　　渉	北海道	北　見
代表理事	菊池龍太郎	青　森	む　つ

役　職　名	氏　名	所属道府県連	所属単会
代表理事	加藤　文彦	岩　手	釜　石
代表理事	水野　徳久	宮　城	塩　釜
代表理事	西村　晃也	秋　田	大　館
代表理事	早坂　清司	山　形	新　庄
代表理事	堀江　俊介	福　島	須賀川
代表理事	西野　淳也	茨　城	ひたちなか
代表理事	松岡　和樹	栃　木	佐　野
代表理事	栁澤　克彦	群　馬	富　岡
代表理事	清水　源太	埼　玉	所　沢
代表理事	神定　勇次	千　葉	東　金
代表理事	小関　康一	神奈川	小田原箱根
代表理事	土屋　順史	静　岡	伊　東
代表理事	目黒　　翔	新　潟	五　泉
代表理事	茂崎　裕介	富　山	高　岡
代表理事	西田　敬志	石　川	白　山
代表理事	濱　　幾洋	長　野	松　本
代表理事	志津野　茜	岐　阜	各務原
代表理事	林　　久雄	愛　知	瀬　戸
代表理事	生川　雄規	三　重	四日市
代表理事	藤井　悠介	福　井	武　生
代表理事	苗村　雅樹	滋　賀	八日市
代表理事	河原さおり	京　都	京　都
代表理事	樫葉修一郎	大　阪	貝　塚
代表理事	向井　　瞳	兵　庫	高　砂
代表理事	森本　泰成	奈　良	大和高田
代表理事	藤社あゆみ	和歌山	新　宮
代表理事	向井　寿孝	鳥　取	倉　吉
代表理事	能地　利弥	島　根	出　雲
代表理事	古谷　健一	岡　山	児　島
代表理事	髙東　秀平	広　島	東広島
代表理事	小野又治伸	山　口	山　陽
代表理事	由井　健太	徳　島	鳴　門
代表理事	上杉　正彦	香　川	丸　亀
代表理事	岡部　純二	愛　媛	松　山
代表理事	松岡　範晃	高　知	高　知
代表理事	沖本　雄紀	福　岡	豊前川崎
代表理事	寺井　啓人	佐　賀	佐　賀
代表理事	道津　一政	長　崎	福　江
代表理事	小松　幹宏	熊　本	荒　尾
代表理事	新川　仁士	大　分	日　田
代表理事	小妻　靖宏	宮　崎	都　城
代表理事	坂本　敬典	鹿児島	出　水
代表理事	比嘉　正樹	沖　縄	宮古島

日本商工会議所青年部

令和８年度　委員会

委員会名	氏名	所属道府県連	所属単会
総務	髙根いずみ	秋田	大曲
	久豊　満	埼玉	さいたま
	吉野　倉康	静岡	静岡
	杉本　望実	愛知	岡崎
	横枕　啓介	福岡	久留米
	西野　正寿	岩手	盛岡
	菊地　昭美	茨城	ひたちなか
	和田　直大	和歌山	和歌山
	加藤　大吾	北海道	札幌
	呉宮　和樹	秋田	秋田
	石田　一馬	山形	山形
	川嶋　啓太	茨城	ひたちなか
	住吉　潤	千葉	柏
	八木　勝	静岡	藤枝
	荒川　嘉貴	富山	富山
	岡田　基紀	三重	鈴鹿
	早川　敬士	滋賀	彦根
	犬伏　裕希	奈良	奈良
	川邉　利浩	広島	広島
	和田　英典	広島	福山
	阿部　妙子	愛媛	松山
	佐藤　繁	福岡	柳川
	福湯　美里	福岡	大川
	照瀬　宏毅	福岡	豊前川崎
	古賀　正大	佐賀	小城
	西山太一朗	宮崎	宮崎
	具志堅貴昭	沖縄	宮古島
広報ＤＸ	久保田善文	和歌山	和歌山
	鹿糠　幸康	岩手	盛岡
	丸山　類	福島	郡山
	飯塚　啓史	千葉	野田
	松葉真梨子	石川	加賀
	髙石　幸	大阪	守口門真
	河野　健太	大分	大分
	加藤　宏太	愛知	刈谷
	松下　和雅	滋賀	彦根
	下西　陽一	和歌山	和歌山
	作田　翔太	北海道	恵庭
	昆　弥	栃木	足利
	味澤　裕司	埼玉	さいたま
	茂木　智広	千葉	船橋
	中野　仁貴	千葉	市川
	根本　雅圭	千葉	佐原
	髙　健太	千葉	流山
	林　亨	愛知	岡崎
	宮野　剛至	愛知	稲沢
	中山　良	京都	京都
	中村　俊幸	京都	宮津
	杉本　豊	大阪	貝塚
	森　正勝	大阪	北大阪
	石津　拓也	大阪	和泉
	梅木　清文	大阪	大東
	安井　大地	奈良	橿原
	出渕　篤史	岡山	岡山
	髙見　尚平	岡山	玉島
	田中　孝幸	広島	広島
	栗原　裕典	広島	福山
	渡邊　和憲	山口	小野田

委員会名	氏名	所属道府県連	所属単会
広報ＤＸ	矢田　和也	徳島	徳島
	福田　竜也	長崎	平戸
	鈴木　宝祥	宮崎	日向
企画	林　千晃	岐阜	恵那
	瀬間　誠	群馬	富岡
	長谷川弘平	富山	黒部
	徳田　祐介	石川	白山
	森　貴行	大阪	和泉
	大塚　泰造	広島	広島
	宇都宮健吾	愛媛	松山
	藤平　僚馬	北海道	釧路
	堀江　雄介	北海道	北見
	早坂　憲佳	宮城	古川
	小野　芳一	福島	相馬
	林　昌克	群馬	沼田
	佐藤　陽子	埼玉	さいたま
	早川　涼太	千葉	柏
	田中　潤	神奈川	相模原
	朝倉　頼人	富山	黒部
	松田　哲也	岐阜	関
	井指　章弘	愛知	豊川
	近藤　祐真	福井	武生
	山川　彪人	滋賀	大津
	大塚　亮平	滋賀	彦根
	嵯峨根隆史	京都	舞鶴
	岡田　浩徳	奈良	奈良
	松浦　崇之	奈良	大和高田
	森元　宏	岡山	津山
	藤井　謙佑	広島	福山
	石井　次哉	山口	山陽
	丸宮　朋	徳島	鳴門
	有薗　俊太	福岡	久留米
	下村　淳矢	佐賀	小城
	池田　翔	宮崎	宮崎
	大城　仁	沖縄	宮古島
研修	髙橋　晋也	福島	郡山
	加藤　貴裕	北海道	帯広
	小田　泰久	愛知	蒲郡
	櫛田　拓真	三重	鈴鹿
	高森　直也	山口	山口
	髙木　潤一	福岡	久留米
	渡邉　将智	埼玉	さいたま
	森谷　拓朗	北海道	札幌
	綿貫　裕介	北海道	釧路
	森井　雅之	千葉	市川
	武井　丈	千葉	柏
	鈴木　和洋	千葉	市原
	原　孝次	千葉	市原
	山本　陵	静岡	沼津
	清水　宏司	石川	七尾
	近藤　匡則	愛知	大府
	梅本　祐希	三重	松阪
	武村エミコ	福井	福井
	堀　貴登	滋賀	彦根
	中籔　淳也	奈良	奈良
	和田洋一郎	広島	広島
	工藤　将大	広島	福山
	椎木　謙太	山口	徳山

日本商工会議所青年部

令和８年度　委員会

委員会名	氏名	所属道府県連	所属単会
研修	井手　志保	熊本	熊本
	小澄　直	熊本	熊本
	川平　康浩	沖縄	宮古島
組織強化	星崎　政和	愛知	大府
	猪原　英和	埼玉	熊谷
	西山　正起	長野	長野
	塚原　一心	岐阜	関
	江島　慎剛	長崎	諫早
	黒田　達也	埼玉	さいたま
	森永　雄介	大阪	吹田
	櫻井美由紀	大阪	守口門真
	兼松　建	宮崎	宮崎
	栗林　周次	北海道	釧路
	早坂　勇人	宮城	仙台
	吉田　真悟	茨城	土浦
	小山　大輔	埼玉	蕨
	荻野　洋一	神奈川	厚木
	伊藤新之介	静岡	藤枝
	斉藤　洋一	長野	長野
	河合　将弘	岐阜	恵那
	大野　雅尚	岐阜	各務原
	伊勢谷智起	愛知	瀬戸
	新海　晃朗	愛知	刈谷
	東　竜之介	愛知	安城
	鈴木　誠哉	愛知	西尾
	伊藤　潤	三重	桑名
	大矢　学	福井	福井
	芹沢　梨奈	大阪	泉佐野
	上田　真輔	兵庫	高砂
	森川　良一	奈良	橿原
	谷口　守	広島	福山
	眞田　知幸	福岡	久留米
	上拾石康博	鹿児島	鹿児島
	嘉手苅　尚	沖縄	那覇
理念形成	栗林　延年	北海道	釧路
	小島　丈	群馬	前橋
	大森　啓田	神奈川	鎌倉
	吉岡　藍	大阪	泉大津
	角　久志	鳥取	米子
	井上　拓紀	神奈川	厚木
	鈴木　浩昭	北海道	釧路
	松井　貴紀	福島	郡山
	千葉　直樹	茨城	日立
	山口亜由美	群馬	藤岡
	小澤　健太	埼玉	さいたま
	押谷　祐基	神奈川	平塚
	東　正充	神奈川	相模原
	森川　龍一	静岡	浜松
	松永　貴大	静岡	焼津
	武田　晴輝	長野	信州中野
	近藤　正幸	愛知	一宮
	島岡　亮司	愛知	大府
	荒武　宗行	大阪	北大阪
	池田　章太	奈良	奈良
	野上　晶平	和歌山	和歌山
	下西　祥平	広島	広島
	池田　義明	広島	福山
	西原孝太郎	愛媛	今治

委員会名	氏名	所属道府県連	所属単会
理念形成	堀下　剛史	福岡	久留米
	中村　信文	福岡	田川
	國武　泰成	熊本	熊本
提言	水取　博隆	大阪	泉佐野
	星野　裕太	埼玉	上尾
	林　幸一郎	愛知	豊田
	山本　裕之	大阪	吹田
	瀧川　洋一	広島	広島
	井ヶ田健一	宮城	仙台
	勝木　征史	北海道	札幌
	青木　孝道	北海道	釧路
	村田　雅洋	北海道	石狩
	藤澤　正展	岩手	盛岡
	中田　光	秋田	秋田
	佐藤　久	群馬	太田
	板倉　正悟	埼玉	さいたま
	柴田　良治	埼玉	蕨
	島田慎太郎	静岡	島田
	片野　豪	新潟	新発田
	増田　秀之	長野	長野
	榊原　康嗣	愛知	半田
	伊藤　承章	愛知	蒲郡
	川越慎之介	愛知	大府
	澁谷　和則	大阪	岸和田
	和田　貴彬	奈良	奈良
	仙田　充利	島根	松江
	坂本　崇祥	広島	福山
	香月　太郎	福岡	田川
	山田　康弘	熊本	熊本
ＹＥＧ経済圏構築	国府田俊輔	埼玉	さいたま
	神戸　龍馬	静岡	島田
	辻　昌裕	富山	砺波
	植松　将志	長崎	諫早
	池田　夏希	埼玉	草加
	渡邊　飛	北海道	札幌
	吉田　勝幸	北海道	釧路
	進藤　優	宮城	仙台
	菊池　敏弘	茨城	下館
	千吉良徳人	群馬	沼田
	河原　淳	埼玉	本庄
	林田有貴子	埼玉	所沢
	青野　正俊	千葉	銚子
	越川　隆之	千葉	成田
	宮本　貴嗣	千葉	八千代
	市川　智也	静岡	浜松
	阿井　裕史	静岡	藤枝
	神子島　真	新潟	燕
	小宮　準也	長野	長野
	西森　紳司	愛知	岡崎
	山口　武	愛知	一宮
	高橋　亮	愛知	犬山
	岡本　一平	京都	城陽
	松下　智哉	兵庫	加古川
	村上　達彦	広島	福山
	寺村　浩	高知	高知
	友野　貴之	福岡	久留米
	豊田　寛	福岡	大川
	鶴田　正臣	福岡	朝倉

日本商工会議所青年部

令和８年度　委員会

委員会名	氏　名	所属道府県連	所属単会
ＹＥＧ経済圏構築	園田耕太郎	佐　賀	佐　賀
	牟田口智史	熊　本	荒　尾
	渡邉　卓真	鹿児島	鹿児島
	谷際　啓太	沖　縄	宮古島
ビジネス推進	伊藤　一樹	岩　手	一　関
	山下　英丈	北海道	札　幌
	栢原　陽子	神奈川	藤　沢
	近藤　誠利	千　葉	松　戸
	山田　友紀	埼　玉	さいたま
	松本　修吾	栃　木	小　山
	森　　健	千　葉	茂　原
	田中　毎美	愛　知	豊　田
	加藤　沙織	愛　知	江　南
	西村　昌也	福　島	相　馬
	春木未央子	石　川	七　尾
	金城　正基	愛　知	一　宮
	畑川　裕喜	愛　知	蒲　郡
	藤井　謙次	愛　知	春日井
	佐藤　宏隆	福　井	福　井
	齋藤　真宏	滋　賀	草　津
	高木　洋平	大　阪	吹　田
	礒山　大地	大　阪	八　尾
	山本まいこ	兵　庫	高　砂
	多賀　正貴	奈　良	奈　良
	三木　康行	奈　良	生　駒
	三宅　博雄	岡　山	倉　敷
	永山　和功	広　島	広　島
	薮本　晃浩	広　島	福　山
	田中　文也	高　知	高　知
	松尾　康隆	福　岡	久留米
	田中　信成	福　岡	柳　川
	中島　俊輔	福　岡	筑　後
	江崎　正徳	佐　賀	佐　賀
スタートアップ支援	小出　和之	愛　知	岡　崎
	海老原大樹	茨　城	下　館
	中村　将成	岐　阜	各務原
	水藤　頼利	愛　知	蒲　郡
	小﨑　　努	愛　知	稲　沢
	土井　健嗣	広　島	府　中
	新名　良盛	宮　崎	宮　崎
	藤田　崇広	茨　城	ひたちなか
	古倉　信吾	石　川	輪　島
	北本かおり	大　阪	八　尾
	加賀谷由峰	北海道	札　幌
	齋藤　一直	群　馬	桐　生
	伊藤　大輔	埼　玉	さいたま
	藤田　賢一	静　岡	富　士
	熊倉　正人	新　潟	燕
	清水　　悟	富　山	高　岡
	小田切康典	長　野	長　野
	光樂　朋尚	愛　知	一　宮
	平松　克之	愛　知	豊　川
	山田　悠貴	愛　知	刈　谷
	杉浦　真悟	愛　知	安　城
	四方　繁郎	大　阪	吹　田
	田附三津夫	大　阪	大　東
	秋山　尚太	岡　山	総　社
	小川　裕介	広　島	広　島

委員会名	氏　名	所属道府県連	所属単会
スタートアップ支援	占部　拓志	広　島	福　山
	野中　哲也	福　岡	久留米
	安丸　真一	福　岡	久留米
	大山　崇之	佐　賀	佐　賀
国際ビジネス	塚本　浩史	群　馬	藤　岡
	高橋　隆太	秋　田	湯　沢
	森田江利子	神奈川	相模原
	藤村　敬子	愛　知	瀬　戸
	加藤　高明	岡　山	岡　山
	小林　孝章	広　島	福　山
	服部　将也	大　阪	泉佐野
	小林　正太	北海道	札　幌
	茅根　俊之	茨　城	水　戸
	鈴木　亜深	栃　木	鹿　沼
	後藤　千稲	群　馬	太　田
	椎名　静子	埼　玉	川　口
	矢口　敦史	埼　玉	さいたま
	諸田徳太郎	東　京	東　京
	杉木　貴文	富　山	富　山
	丸岡　武史	愛　知	岡　崎
	井澤　秀明	愛　知	豊　川
	橋本　　潤	愛　知	刈　谷
	伊藤　大介	愛　知	春日井
	吉田　昌顕	京　都	亀　岡
	尾方　夏子	京　都	城　陽
	田中　元気	岡　山	児　島
	新田　信雄	広　島	広　島
	大棟　翔仁	愛　媛	八幡浜
	永久　恭平	福　岡	行　橋
	山口　博史	長　崎	諫　早
グローバルネットワーク	富田　晋介	愛　知	安　城
	山本　　慶	群　馬	伊勢崎
	三井　陽介	三　重	松　阪
	坊寺　絵梨	岡　山	岡　山
	上田エカテリーナ	山　口	山　口
	西　　勲和	福　岡	久留米
	小川　利幸	大　阪	吹　田
	西村としゆき	茨　城	水　戸
	服部　絢香	茨　城	結　城
	矢島　敏也	群　馬	伊勢崎
	東海林敏弘	埼　玉	さいたま
	村上　武白	埼　玉	さいたま
	永岡　涼平	千　葉	市　川
	藤澤　雄太	神奈川	平　塚
	守屋真紀子	静　岡	焼　津
	白江誠一郎	石　川	小　松
	礒　　宏典	長　野	長　野
	中村　太佑	愛　知	豊　橋
	吉田　孔顕	三　重	鈴　鹿
	甚野　祐宏	大　阪	泉佐野
	常松　牧人	島　根	松　江
	岡田　祥平	広　島	福　山
	内田　直毅	広　島	東広島
	舩越　健太	山　口	下　関
	西村　政彦	福　岡	行　橋
	江口　尚登	佐　賀	佐　賀
	知花　樹里	沖　縄	那　覇

東北ブロック商工会議所青年部連合会

令和８年度　役員

役　職　名	氏　名	所属道府県連	所属単会
会長	金野　隆行	山　形	鶴　岡
直前会長	武田　喜胤	秋　田	大　館
副会長	澤田　朋子	宮　城	古　川
副会長	髙橋　英明	岩　手	花　巻
専務理事	太田　和輝	山　形	鶴　岡
大会担当理事	西村　昌也	福　島	相　馬
常任理事（青森県連会長）	相馬　大希	青　森	む　つ
常任理事（岩手県連会長）	加藤　文彦	岩　手	釜　石
常任理事（宮城県連会長）	中澤　拓摩	宮　城	塩　釜
常任理事（秋田県連会長）	西村　常幸	秋　田	大　館
常任理事（山形県連会長）	早坂　清司	山　形	新　庄
常任理事（福島県連会長）	堀江　俊介	福　島	須賀川
NEXTビジョン委員会委員長	山影　和孝	岩　手	花　巻
共創提言委員会委員長	秋元　駿一	青　森	弘　前
絆連携室室長	大友　隆一	宮　城	古　川
理事（NEXTビジョン委員会 副委員長）	齊下　恭嘉	青　森	十和田
理事（NEXTビジョン委員会 副委員長）	久保田　健一郎	秋　田	大　曲
理事（NEXTビジョン委員会 副委員長）	佐々木　拓哉	宮　城	仙　台
理事（NEXTビジョン委員会 副委員長）	青木　裕人	山　形	長　井
理事（共創提言委員会 副委員長）	伊藤　峻	岩　手	宮　古
理事（共創提言委員会 副委員長）	佐藤　浩紀	宮　城	塩　釜
理事（共創提言委員会 副委員長）	神山　享央	秋　田	能　代
理事（共創提言委員会 副委員長）	山﨑　勇一郎	福　島	いわき
理事（絆連携室 副室長）	今　拓真	青　森	五所川原
理事（絆連携室 副室長）	阿部　信太郎	岩　手	釜　石
理事（絆連携室 副室長）	松田　進	山　形	新　庄
理事（絆連携室 副室長）	獺庭　大輔	福　島	相　馬
監事	外﨑　耕士	青　森	青　森
監事	虻川　洋行	秋　田	大　館
相談役	菊池　孝一	青　森	五所川原
相談役	太田　憲仁	青　森	む　つ
顧問	吉田　一成	福　島	郡　山
顧問	髙根　いずみ	秋　田	大　曲
顧問	髙橋　晋也	福　島	郡　山
顧問	伊藤　一樹	岩　手	一　関
青森県代表理事	菊池　龍太郎	青　森	む　つ
岩手県代表理事	加藤　文彦	岩　手	釜　石
宮城県代表理事	水野　徳久	宮　城	塩　釜
秋田県代表理事	西村　晃也	秋　田	大　館
山形県代表理事	早坂　清司	山　形	新　庄
福島県代表理事	堀江　俊介	福　島	須賀川

東北ブロック商工会議所青年部連合会

令和８年度　委員会

委員会名	氏名	所属道府県連	所属単会
NEXTビジョン委員会	岡崎　勇介	青森	青森
	竹内　孝紀	青森	青森
	葛西　晋	青森	弘前
	吉川　裕之	青森	弘前
	森　隆幸	青森	むつ
	桑田　剛俊	青森	五所川原
	田村　佑平	青森	五所川原
	高梨　光昭	岩手	盛岡
	高橋　宏紀	岩手	盛岡
	及川　邦仁	岩手	奥州
	早野こずえ	岩手	花巻
	髙橋久美子	岩手	花巻
	袴田　金生	宮城	仙台
	照井　貴大	宮城	古川
	五島　啓太	宮城	古川
	大島　央	秋田	秋田
	照井　真澄	秋田	秋田
	平藤　泰世	山形	鶴岡
	伊藤　琢	福島	郡山
	國分　一人	福島	郡山
	舘山　正佳	福島	相馬
共創提言委員会	猪股　裕一	青森	弘前
	鳴海　利彦	青森	弘前
	海老名栄人	青森	五所川原
	相内　友博	青森	むつ
	田中　健悦	青森	八戸
	佐々木宏明	岩手	盛岡
	中村　俊介	岩手	盛岡
	宍戸　紀幸	岩手	奥州
	小玉　仁志	宮城	古川

委員会名	氏名	所属道府県連	所属単会
共創提言委員会	今野　大史	宮城	古川
	菅原　真雄	山形	鶴岡
	島崎　敦	山形	鶴岡
	遠藤　哲也	山形	天童
	横山　雄基	山形	米沢
	槙山　秀都	山形	米沢
	佐藤　秀仁	山形	米沢
	田河　朋裕	福島	相馬
	加藤　洋平	福島	相馬
	鈴木　孝宣	福島	原町
絆連携室	中村　好孝	青森	弘前
	湯瀬　高央	青森	黒石
	木田　茂雄	青森	八戸
	佐藤　俊介	青森	むつ
	室岡　直樹	岩手	盛岡
	鎌田　哲暢	岩手	花巻
	藤原　誉	岩手	花巻
	黒川　巧朗	岩手	花巻
	渡邊　和真	岩手	北上
	但野　佑樹	宮城	仙台
	本間　良	宮城	塩釜
	菅原　隆之	宮城	古川
	鈴木　優介	秋田	秋田
	小池健太郎	山形	鶴岡
	吉田　純崇	山形	鶴岡
	小幡　広宣	福島	相馬
	神野　聴文	福島	二本松
	太田　恭寿	福島	二本松
	松本　卓真	福島	原町

福島県商工会議所青年部連合会

令和８年度　役員

役　職　名	氏　名	所属単会
会長	堀　江　俊　介	須　賀　川
直前会長	渡　部　祐　平	会 津 若 松
副会長	安　部　　茂	福　　島
副会長	鈴　木　洋　道	原　　町
副会長	菊　地　啓　太	会津喜多方
専務理事	柴　遼　太　郎	須　賀　川
理事（単会代表）	西　形　吉　和	福　　島
理事（単会代表）	渡　辺　健　史	郡　　山
理事（単会代表）	相　馬　寛　司	会 津 若 松
理事（単会代表）	根　本　一　也	い　わ　き
理事（単会代表）	吉　見　優一郎	白　　河
理事（単会代表）	新　妻　俊　一	原　　町
理事（単会代表）	齋　藤　琢　磨	会津喜多方
理事（単会代表）	飯　塚　哲　生	相　　馬
理事（単会代表）	志　賀　達　也	須　賀　川
理事（単会代表）	荒　木　清　明	二　本　松
理事（交流委員長）	山　田　真樹人	福　　島
監事	小　幡　広　宣	相　　馬
監事	有　賀　裕二郎	白　　河
県代表理事（東北ブロック）	獺　庭　大　輔	相　　馬
県代表理事（東北ブロック）	山　﨑　勇一郎	い　わ　き
顧問	松　本　卓　真	原　　町

日本商工会議所青年部　第45回東北ブロック大会
福島そうま大会実行委員会　組織図

主管　相馬商工会議所青年部
会長　飯塚　哲生

実行委員会

監事
松本　好彦
武山　　剛
加藤　洋平

大会会長
西村　昌也

副主管　福島県商工会議所青年部連合会
会長　堀江　俊介

福島商工会議所青年部
郡山商工会議所青年部
会津若松商工会議所青年部
いわき商工会議所青年部
白河商工会議所青年部
原町商工会議所青年部
会津喜多方商工会議所青年部
須賀川商工会議所青年部
二本松商工会議所青年部

大会実行委員長
田河　朋裕

大会事務局
佐藤　友紀

大会副実行委員長
小幡　広宣

懇親会・物産展部会	
部 会 長	佐藤　昌幸
副部会長	三浦　元晴
副部会長	森　　保幸
	羽柴　和洋
	髙橋　伸江
	伊東　和彦
	鈴木　雅俊
	石橋　正裕
	八巻　史功
	阿部　二郎
	櫻井　大介
	中澤久仁彦
	星　　孝典
	宍戸　優治
	新保　陽子
	湊　　尚哉
	上田　良次
	加藤修一郎
	岩崎美智子

記念事業部会	
部 会 長	獺庭　大輔
副部会長	菅原　佳紀
副部会長	佐々木健次
	山崎　岳志
	原田　知弥
	荒　陽之輔
	管野　　敦

式典部会	
部 会 長	飯塚　知之
副部会長	佐藤　大輝
副部会長	草野　貴之
	太田　剛宗
	小野　芳一
	草野　貴裕
	管野　貴拓

おもてなし部会	
部 会 長	伊藤順一郎
副部会長	舘山　正佳
副部会長	立谷　憲一
	高山　敏一
	小林　知代
	門馬　朱音
	落合　康弘
	木下　晋宏

総務部会	
部 会 長	米山　真弘
副部会長(総務)	大久保周作
副部会長(広報)	遠藤　智哉
	立谷　浩二
	門馬　正樹
	菅野　　賢
	大島　豪将
	松井　　亮
	吉田　　広
	森　　力也
	高橋　大善
	佐藤　満梨

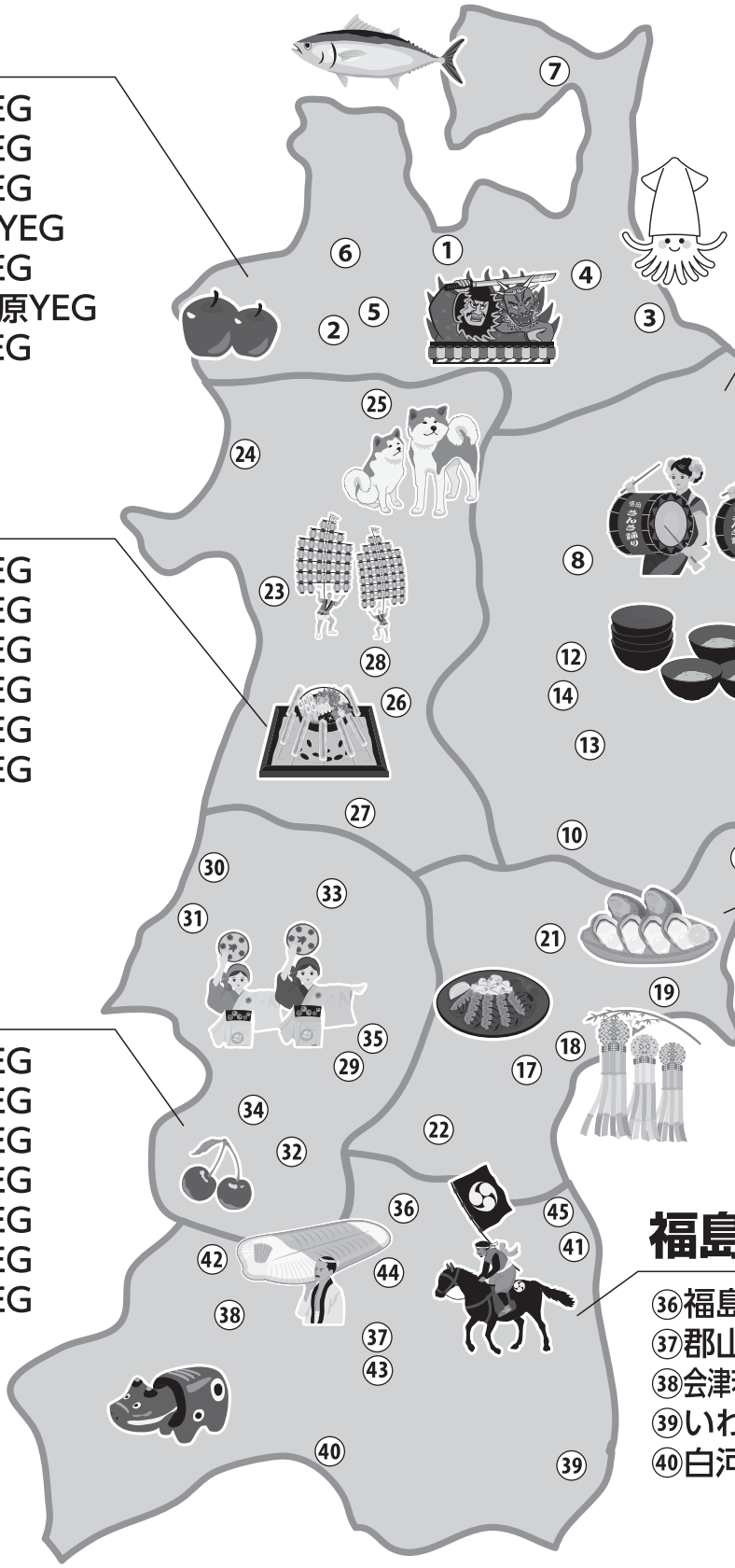
東北ブロック大会のあゆみ

大会開催年月日(式典) 主管単会	大会開催回数及び大会名称 大会スローガン	ブロック会長（所属単会）
昭和57年９月17日 福島県　原町YEG	第１回　東北・北海道ブロック商工会議所青年部運営研究会 **若い力を結集し　商工会議所に新たなる飛躍を**	
昭和58年９月18日 山形県　鶴岡YEG	第２回　東北・北海道ブロック商工会議所青年部運営研究会 **拡げよう　若い力を全国に**	
昭和59年９月15日 宮城県　塩釜YEG	第３回　東北・北海道ブロック商工会議所青年部運営研究会 **拓こう若い力　未来への道**	
昭和60年９月14日 岩手県　一関YEG	第４回　東北・北海道ブロック商工会議所青年部運営研究会 **活かせ英知　若さで築こう地域の経済**	
昭和61年９月27日 秋田県　大館YEG	第５回　東北・北海道ブロック商工会議所青年部運営研究会 **商工会議所　若さがつくる新時代**	初代会長　菅原　周二（塩釜YEG）
昭和62年９月19日 北海道　登別YEG	第６回　東北・北海道ブロック運営研究会 **翔こう商青連、創ろう日本の未来**	菅原　周二（塩釜YEG）
昭和63年９月10日 山形県　長井YEG	第７回　東北ブロック運営研究会 **創ろう　ふるさと21世紀への礎（いしずえ）活き生き行こうTOUHOKU21**	菅原　周二（塩釜YEG）
平成元年10月１日 青森県　青森YEG	第８回　東北ブロック運営研究会 **北の時代　－つくろう、人のネットワーク－**	鈴木　隆則（長井YEG）
平成２年９月１日 福島県　郡山YEG	第９回　東北ブロック運営研究会 **翔け世界へ　新しい時代の開拓者（パイオニア）**	中村　公英（青森YEG）
平成３年８月15日 宮城県　石巻YEG	第10回　東北ブロック運営研究会 **時代を先駆ける賢明なYEG（若き起業家集団）たらん**	野地　純一（郡山YEG）
平成４年７月18日 岩手県　花巻YEG	第11回　東北ブロック運営研究会 **地域における“新しい風”トレンド・“熱い風”トレンド**	徳増　良平（石巻YEG）
平成５年９月４日 秋田県　秋田YEG	第12回　東北ブロック運営研究会 **共に築こう、豊かな郷土、東北の新時代**	藤本　純一（花巻YEG）
平成６年10月15日 山形県　山形YEG	第13回　東北ブロック大会　山形大会 **おこそう行動 YEG　～交流そして連携へ～**	賢木　新悦（秋田YEG）
平成７年10月21日 青森県　八戸YEG	第14回　東北ブロック大会　八戸大会 **研け感性、拡げよフィールド　YEG 連携時代**	新関　芳則（山形YEG）
平成８年９月26日 福島県　会津若松YEG	第15回　東北ブロック大会　会津若松大会 **会津から発信　YEG連携の合図**	稲田　稔（八戸YEG）
平成９年10月８日 宮城県　古川YEG	第16回　東北ブロック大会　古川大会 **「夢の音」「夢の色」「夢の街」夢から実現へ出発**	伊藤　裕康（会津若松YEG）
平成10年10月14日 岩手県　北上YEG	第17回　東北ブロック大会　北上大会 **YEGの原点へ　躍動、感動、行動　そして連携の和**	千葉　冨士夫（古川YEG）
平成11年10月13日 秋田県　湯沢YEG	第18回　東北ブロック大会　湯沢大会 **挑戦、飛躍、共生　新世紀へのかけ橋　－YEGネットワーク－**	関根　敏伸（北上YEG）
平成12年９月22日 山形県　米沢YEG	第19回　東北ブロック大会　米沢大会 **鷹山公現る　大胆なチャレンジ　21世紀の地域づくり**	髙橋　弘隆（湯沢YEG）
平成13年９月22日 青森県　弘前YEG	第20回　東北ブロック大会　弘前大会 **－絆－　地域は接点、人が原点**	斎藤　明彦（米沢YEG）
平成14年10月４日 福島県　福島YEG	第21回　東北ブロック大会　福島大会 **「東北中心宣言」2002年　うつくしまふくしま大会**	鈴木　順三（弘前YEG）
平成15年９月26日 宮城県　気仙沼YEG	第22回　東北ブロック大会　気仙沼大会 **東北再生の舵を取れ!!**	坪井　大雄（福島YEG）
平成16年８月20日 岩手県　大船渡YEG	第23回　東北ブロック大会　大船渡大会 **黄金の岩手でさぁさぁお祭りだ!!**	坂井　正行（気仙沼YEG）

・第１回～第４回大会までは、ブロック組織なし、会長も置いていない。 ・第１回～第６回大会までは、東北・北海道ブロックで共同開催。（北海道に単会が少なかった為。） ・第１回～第６回大会までは、商青連（日本YEG）の全国大会スローガンを使用。
・第７回大会から、東北ブロックオリジナルの大会スローガンを作る。 ・第13回大会から、「東北ブロック大会」の名称を使用。

大会開催年月日（式典） 主管単会	大会開催回数及び大会名称 大会スローガン	ブロック会長（所属単会）
平成17年９月23日 秋田県 能代YEG	第24回 東北ブロック大会 能代大会 DUNK to the future ～進め！チーム東北～	渕上 清（大船渡YEG）
平成18年９月29日 山形県 酒田YEG	第25回 東北ブロック大会 酒田大会 きたまえに、来たまえ！公益と商人の街から、アントレプレナーズだの～	銅谷 昭（能代YEG）
平成19年９月22日 青森県 八戸YEG	第26回 東北ブロック大会 八戸大会 地域創発 地域ブランド構築による東北再生へのシナリオ！	西村 修（酒田YEG）
平成20年９月20日 福島県 須賀川YEG	第27回 東北ブロック大会 須賀川大会 「New impulse」 ～あらたな衝撃を東北から世界へ、そして未来へ～	武論 俊彦（八戸YEG）
平成21年９月12日 宮城県 仙台YEG	第28回 東北ブロック大会 仙台大会 活東北！元気な会社を、元気の街を、YEGの手で創ろう‼	安田 善好（須賀川YEG）
平成22年９月４日 岩手県 奥州YEG	第29回 東北ブロック大会 奥州大会 奥州BigBang ☆ ～集結・創出・発言 東北の輝（ひかり）を放て！～	新田 秀悦（仙台YEG）
平成23年９月３日 青森県 青森YEG	第30回 東北ブロック大会 青森大会 我で発案！輪で発信！和で発展！集え◯（WA）の里（KUNI）へ	及川 潤（奥州YEG）
平成24年９月15日 秋田県 横手YEG	第31回 東北ブロック大会 横手大会 一人の力 みんなの力 東北の力 和親一致（わしんいっち）で未来を創ろう！	西 秀記（青森YEG）
平成25年９月21日 山形県 天童YEG	第32回 東北ブロック大会 天童大会 YEGは地球を救う ～真の復興に向けて歩（ほ）を進めよう～	岩佐 信宏（横手YEG）
平成26年９月27日 福島県 いわきYEG	第33回 東北ブロック大会 福島いわき大会 EXCHANGE（まじわっぺ）YEG 東北の力を日本へ、世界へ	山口 敦史（天童YEG）
平成27年９月19日 宮城県 石巻YEG	第34回 東北ブロック大会 みやぎ石巻大会STAGE 感謝 ～そして新たなステージへ～	曽我 泉美（いわきYEG）
平成28年９月17日 岩手県 盛岡YEG	第35回 東北ブロック大会 いわて盛岡大会 幸呼来（さっこら）いわて ～不来方のまちに集いし YEG HAPPY 東北 45 の心～	中川 尚仙（石巻YEG）
平成29年９月２日 青森県 五所川原YEG	第36回 東北ブロック大会 青森ごしょがわら大会 津軽の郷（さと）で笑顔が躍動（おど）る ヤッテマレ東北！ヤッテマレYEG！	野坂 哲司（盛岡YEG）
平成30年９月７日 秋田県 大曲YEG	第37回 東北ブロック大会 秋田おおまがり大会 ぶぢあげろ!!! 大曲から KIZUKI東北YEG45の価値と未来	中山 佳（五所川原YEG）
令和元年９月28日 山形県 新庄YEG	第38回 東北ブロック大会 やまがた新庄大会 山車（だし）尽くせ！ YEG魂（SOUL）	伊藤 洋平（大曲YEG）
令和２年10月31日 福島県 白河YEG	第39回 東北ブロック大会 福島しらかわ大会 士民共楽 東北共楽 人・歴史・文化が交わる古（いにしえ）の関	上嶋 竜一（新庄YEG）
令和３年10月９日 宮城県 塩釜YEG	第40回 東北ブロック大会 宮城しおがま大会 Gift ～海から生み出せ！東北の兆し！～	冨山 強（白河YEG）
令和４年９月10日 岩手県 一関YEG	第41回 東北ブロック大会 岩手いちのせき大会 招福万来（しょうふくばんらい） ～動き集い 東北の幸せに繋ぐ～	阿部 眞喜（塩釜YEG）
令和５年10月７日 青森県 むつYEG	第42回 東北ブロック大会 青森むつ下北大会 ＃CHANCE ～むっつの魅力の彩北体験～	山本 郷（一関YEG）
令和６年10月５日 秋田県 大館YEG	第43回 東北ブロック大会 秋田おおだて大会 合縁喜縁（あいえんきえん） ～すべてはあなたとの出逢いから～	太田 憲仁（むつYEG）
令和７年９月13日 山形県 鶴岡YEG	第44回 東北ブロック大会 山形つるおか大会 Life is Journey －歴史と未来をつなぐ架け橋－	武田 喜胤（大館YEG）
令和８年10月18日 福島県 相馬YEG	第45回 東北ブロック大会 福島そうま大会 変革 ～いっぺんそうまさ来てくだ祭～	金野 隆行（鶴岡YEG）

東北ブロック内単会所在地



青森

①青森YEG
②弘前YEG
③八戸YEG
④十和田YEG
⑤黒石YEG
⑥五所川原YEG
⑦むつYEG

岩手

⑧盛岡YEG
⑨釜石YEG
⑩一関YEG
⑪宮古YEG
⑫花巻YEG
⑬奥州YEG
⑭北上YEG
⑮大船渡YEG
⑯久慈YEG

秋田

㉓秋田YEG
㉔能代YEG
㉕大館YEG
㉖横手YEG
㉗湯沢YEG
㉘大曲YEG

宮城

⑰仙台YEG
⑱塩釜YEG
⑲石巻YEG
⑳気仙沼YEG
㉑古川YEG
㉒白石YEG

山形

㉙山形YEG
㉚酒田YEG
㉛鶴岡YEG
㉜米沢YEG
㉝新庄YEG
㉞長井YEG
㉟天童YEG

福島

㊱福島YEG
㊲郡山YEG
㊳会津若松YEG
㊴いわきYEG
㊵白河YEG
㊶原町YEG
㊷会津喜多方YEG
㊸須賀川YEG
㊹二本松YEG
㊺相馬YEG

単会紹介 青森県商工会議所青年部連合会

① 青森商工会議所青年部

●設立年月日／昭和61（1986）年７月10日
●会　員　数／177名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／50,000円
●会　長　名／川村　祐樹（かわむら　ゆうき）
●事務局住所／〒030-8515
青森県青森市新町1-2-18
●事務局連絡先／TEL:017-734-1311
kojima@acci.or.jp（担当:小嶋）



単会PR

「変革」を力に、地域を支える青森YEG。さらなる高みへ！川村祐樹会長の掲げるスローガン「変革」を旗印に、青森YEGは今、大きな転換期を迎えています。令和７年度には会員数純増80名を達成し、多様な感性が響き合う活発な組織へと成長しました。
■ 今年度の３大アクション
・青森安潟みなとまつり：地域の魅力を最大化する市民交流の場　　・ジュニアエコノミーカレッジ：次代を担う子供たちの起業家精神を育成
・あおもりカルチャーナイト：夜の文化発信を通じた新たな賑わいの創出
これらの事業を糧にアクティブメンバーを増やし、令和８年度は「未来リーダーをつくる」組織として、より一層地域社会の永続的繁栄に貢献してまいります。

② 弘前商工会議所青年部

●設立年月日／平成元（1989）年７月11日
●会　員　数／118名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／50,000円
●会　長　名／葛西　晋
●事務局住所／〒036-8567
青森県弘前市上鞘師町18-1
●事務局連絡先／TEL:0172-33-4111



単会PR

弘前YEGは未来創造ビジョン「創支想愛」を掲げて地域経済の発展の為に日々邁進しております。本年度は「愛と誠～Yeah! Enjoy! Glamorous!」を基本理念に掲げ活動しております。
「津軽の食と産業まつり」「古都ひろさき花火の集い」「NEWウインタースポーツSONDO」等の事業を展開し郷土愛溢れる活動をしております。新時代へ向けて変革しながら、これからも地域とともに行動してまいります！

③ 八戸商工会議所青年部

●設立年月日／昭和62（1987）年10月13日
●会　員　数／137名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／48,000円
●会　長　名／岡本　信也
●事務局住所／〒031-8511
青森県八戸市堀端町2-3
●事務局連絡先／TEL:0178-20-9274



単会PR

八戸YEGは、「ワクワクする新時代へ　～貢献の輪を広げ、挑戦の道を拓く～」をスローガンに、会員の成長のための貢献と地域のための挑戦を繰り返し、ワクワクする新時代を創っていくことを目指しています。
令和８年度は４委員会１室で活動し、地域振興のための地域活性化を目的とした事業、良好な官民の関係を構築し、提言内容を実現するための政策提言事業、地域にとって有益となるビジネス創出事業、会員研修事業などを行っています。
また令和９年度に創立40周年を迎えるため、今年度から準備委員会を設置し、記念事業等の企画検討を行っております。

④ 十和田商工会議所青年部

●設立年月日／平成元（1989）年７月14日
●会　員　数／75名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／24,000円
●会　長　名／山道　慶輝
●事務局住所／〒034-0082
　　青森県十和田市西二番町4-11
●事務局連絡先／TEL:0176-24-1111



単会PR

今年度のスローガンを「一致団結」～さらに強い絆を持つ団体へ～としました。
今までよりもさらに力を発揮できる組織になれる事を目標にして、活動していきます!!
美術館、バラ焼き、馬刺し、スイーツなど、美味しいものもたくさんあります。
十和田市へお越しの際はぜひ！

⑤ 黒石商工会議所青年部

●設立年月日／平成３（1991）年３月27日
●会　員　数／40名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／36,000円
●会　長　名／棟方　清崇（むなかた　きよたか）
●事務局住所／〒036-0307
　　青森県黒石市大字市ノ町5-2
●事務局連絡先／TEL:0172-52-4316



単会PR

藩政時代からそのままの形で残っている「こみせ」などの歴史的建造物や、「黒石よされ」などの脈々と受け継がれてきた素晴らしい観光資源の魅力を発信するために、会員ひとりひとりが郷土のことを愛し、次代の子供たちに伝え、歴史を学びそれぞれの根本を見つめ直し情熱を持って発信します。
黒石商工会議所青年部全員が一丸となり、企業・行政・各種団体の方々と連携し、さらには他単会とも交流を図り、協力し合いながら、郷土の魅力を発信できるように精いっぱい取り組んでまいります。

⑥ 五所川原商工会議所青年部

●設立年月日／平成２（1990）年５月29日
●会　員　数／104名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／30,000円
●会　長　名／平川　新介
●事務局住所／〒037-0052
　　青森県五所川原市東町17-5
●事務局連絡先／TEL:0173-35-2121



単会PR

当YEGは昨年設立から35年を迎え、今年は40周年に向けた新たな一歩を踏み出します。
本年も定例会を通じた研鑽と交流、事業開催による地域の振興を通じて100人の力を一つにし、地域とともに歩み、自企業の発展と五所川原の発展に寄与してまいります。

⑦ むつ商工会議所青年部

●設立年月日／平成10（1998）年７月27日
●会　員　数／42名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／40,000円
●会　長　名／小田桐　亮
●事務局住所／〒035-0031
青森県むつ市柳町一丁目10番25号
むつまちなかオフィス１Ｆ
●事務局連絡先／TEL:0175-22-2282



単会PR

青森県下北半島の中心市であるむつ市で活動するむつYEGは、令和８年度スローガン「万邦和楽（ばんぽうわらく）」共に歩むYEG を掲げ、むつ市をにぎやかにそして多くの市民に笑顔を与えるため全力で活動していきます。
主力事業である はしご酒ラリー事業は今年度は６月および２月の２回開催とし地域をより一層盛り上げて行くほか、各種団体との垣根を越えて各イベントにも積極的に参加協力して参ります。

単会紹介　岩手県商工会議所青年部連合会

⑧ 盛岡商工会議所青年部

●設立年月日／平成14（2002）年９月10日
●会　員　数／108名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／30,000円
●会　長　名／佐藤　洋平
●事務局住所／〒020-0875
岩手県盛岡市清水町14-12
●事務局連絡先／TEL:019-624-5880（代表）
担当：畠中　優弥



単会PR

盛岡YEGでは、地域の魅力再発見と課題抽出を目的とした「まち歩き事業」を展開しております。本事業には盛岡市職員の方々にもご参画いただき、官民一体となった「風会議」の開催や、具体的な「政策提言」へと繋げてまいりました。この行政との強固な連携体制（パイプ）こそが、我が単会の大きな強みとなっております。
また、毎年８月１日～４日に開催される「盛岡さんさ踊り」においては、売店運営を担っております。この一大プロジェクトを通じて会員相互の絆と一体感を醸成するとともに、地域社会におけるYEGの存在感を広く発信し、持続可能な地域発展に貢献しております。

⑨ 釜石商工会議所青年部

●設立年月日／昭和60（1985）年３月28日
●会　員　数／26名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／35,000円
●会　長　名／傳野　武彦
●事務局住所／〒026-0021
岩手県釜石市只越町1-4-4
●事務局連絡先／TEL:0193-22-2434



単会PR

釜石商工会議所青年部は、昭和60年３月に設立され、これまで地域とともに歩んでまいりました。
街並みも時代とともに変化してきましたが、現在は物価高騰や世界情勢の不安定化により、地域の事業所でも厳しい状況が続いております。釜石のみんな一人ひとりが主役となり、力を合わせて明るい未来を切り開いてまいります！
「鉄と魚とラグビーのまち」釜石へぜひいらしてください！

⑩ 一関商工会議所青年部

●設立年月日／昭和57（1982）年７月１日
●会　員　数／156名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／25,000円
●会　長　名／兜　千尋
●事務局住所／〒021-0881
岩手県一関市大町４番25号
●事務局連絡先／TEL:0191-23-3434



単会PR

第45回東北ブロック大会福島そうま大会開催 誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。
一関YEGは令和８年度、スローガン「共創挑進～地域と共に、未来を拓く～」を合言葉に、地域をもっとワクワクさせる一年へ動き出します。仲間とつながり、新しい発想を生み出す 共創 の力。そして、一歩踏み出す勇気を形にする 挑進 の姿勢。私たちはその両方を武器に、一関の未来を明るく、楽しく、前向きにアップデートしていきます。

⑪ 宮古商工会議所青年部

●設立年月日／平成２（1990）年11月７日
●会　員　数／26名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／個人：10,000円、法人：20,000円
●会　長　名／伊藤　峻
●事務局住所／〒027-0074
岩手県宮古市保久田7番25号
●事務局連絡先／TEL:0193-62-3233



単会PR

令和８年度のスローガンは「不易流行」。先人たちが築いてきた伝統や理念を大切にしながら、時代に合わせて活動を磨き上げ、地域に必要とされる組織を目指しています。
宮古夏まつりへの参加協力や「宮古はしご酒」の開催など、地域の賑わい創出に取り組むほか、県連事業や東北ブロック大会への積極的な参加を通じて、会員の成長と組織の活性化を図っています。
「本州最東端のまち・宮古」から、地域経済の発展と持続可能なまちづくりに貢献できるよう、会員一丸となって挑戦を続けてまいります。

⑫ 花巻商工会議所青年部

●設立年月日／昭和59（1984）年11月20日
●会　員　数／107名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／25,000円
●会　長　名／菊池　久範（きくち　ひさのり）
●事務局住所／〒025-0075
岩手県花巻市花城町10-27
●事務局連絡先／TEL:0198-23-3381



単会PR

今年度は、会員一人ひとりが積極的に活動へ参加できるよう、会員同士の交流と学びの機会を創出するとともに、行政をはじめとした関係団体との連携を深めながら、地域社会の発展に寄与できる事業を展開してまいります。
また、本年は花巻市合併20周年という大きな節目を迎えることから、改めて花巻の魅力や地域資源を再認識し、会員自らが各地域へ足を運び、地域文化や人とのつながりに触れることで、より良い花巻の未来を創造できる青年経済人として成長できるよう邁進してまいります。

⑬ 奥州商工会議所青年部

●設立年月日／平成21（2009）年４月10日
●会　員　数／87名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／25,000円
●会　長　名／千葉　恭義
●事務局住所／〒023-0818
岩手県奥州市水沢東町4番地
●事務局連絡先／TEL:0197-24-3141



単会PR

今年度は「継往開来～礼を尽くし、笑顔溢れる未来を切り開く～」をスローガンに掲げ、活動を進めております。
令和４年度より継続している「風会議」や、昨年度初めて開催した音楽イベント「奥州音楽祭」に加え、今年度は「会員拡大」を重点課題として取り組んでまいります。
地域の笑顔溢れる未来を切り開くべく、事業や活動を通して共に歩む仲間が広がっていくような一年にしてまいります。

⑭ 北上商工会議所青年部

●設立年月日／昭和60（1985）年２月20日
●会　員　数／83名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／30,000円
●会　長　名／髙橋　誠
●事務局住所／〒024-0061
岩手県北上市大通り二丁目3-4
●事務局連絡先／TEL:0197-65-4211



単会PR

当青年部は会員相互の親睦と研鑽を密にし、青年経済人として個人及び自企業の発展を図ることにより、地域経済への貢献を進めております。ビジネス交流事業や研修企画系の事業及び政策提言事業を中心に、単会内でのビジネスを強くしていくことを意識しながらも、今年度は渉外交流事業で他単会やOB会、他団体との連携もしていく予定です。特に、２年前に友好締結を結んだ横手YEG様、西和賀町商工会青年部様も含んだ３団体での合同事業である「北上・横手・西和賀合同事業～街を超えて繋がるその先へ～」は今年の中心的な事業です。近隣団体の青年部員との交流から始めていき、最終的には３つの地域の経済圏としての繋がりをしっかりと持つことを目指しております。

⑮ 大船渡商工会議所青年部

●設立年月日／平成７（1995）年12月８日
●会　員　数／19名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／30,000円
●会　長　名／松岡　研二
●事務局住所／〒022-0003
岩手県大船渡市盛町字中道下2-25
●事務局連絡先／TEL:0192-26-2141



単会PR

スローガン「継ぐ」には、先人の跡を受け継ぎ、絶え間なく未来へ続けていくという意味を込めました。
これまでの活動を振り返り、今なにが必要とされているのか、どのようなことが地域貢献につながるのかをメンバー全員で考え、行動していきます。

⑯ 久慈商工会議所青年部

●設立年月日／昭和55（1980）年４月１日
●会　員　数／32名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／25,000円
●会　長　名／戸﨑　ミユキ
●事務局住所／〒028-0065
岩手県久慈市十八日町1-45
●事務局連絡先／TEL:0194-52-1000



単会PR

昨年度は、春まつりやべっぴん夜市などの地元を盛り上げる事業の実施のほか、会員拡大にも力を注ぎ、組織基盤の強化を図ってまいりました。
今年度は、これまでの経験とつながりをさらに発展させ、地域経済の活性化に寄与できる青年部として、より一層の挑戦を続けてまいります。一人ひとりが主体的に挑戦し、自らの可能性を広げ、志を同じくする仲間と結び合い、互いに支え合いながら成長していくことで、久慈地域の経済活動の一助となれるよう努めてまいります。

単会紹介　宮城県商工会議所青年部連合会

⑰ 仙台商工会議所青年部

●設立年月日／平成14（2002）年６月25日
●会　員　数／210名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／45歳
●年　会　費／48,000円
●会　長　名／桑原　和也
●事務局住所／〒980-8414
宮城県仙台市青葉区本町2丁目16番12号
●事務局連絡先／TEL:022-265-8127



単会PR

『仙台の未来は私たちが創る！』という仙台YEGビジョンのもと、６つの委員会と４つの特別委員会で組織を構成しています。各委員会には約４つ前後の事業を担当してもらい、
・行政との意見交換をする伊達な風会議と、仙台市長へ直接手交する政策提言活動、政策提言の実現事業
・子供たちとその家族の地域愛を育む、2,000人規模の宮城県・仙台市内の小学生およびその対象とする杜の都Kidsウォークラリー
・次のビジョン改定に向けた、過去の取り組みを知り未来の仙台YEGの姿を考える事業
・会員拡大、増強に向けた取り組み
・学生とYEGが連携したビジネスプランコンテスト、災害協定・七夕きずなプロジェクトをはじめとした他単会との連携事業
など、今年度のスローガン「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE ～個の力を結集し、影響力を高める～」を軸に、地域や自社の未来に仙台YEGの影響力を高めるべく、精力的にYEG活動を行っております。

⑱ 塩釜商工会議所青年部

●設立年月日／昭和58（1983）年４月２日
●会　員　数／51名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／45歳
●年　会　費／40,000円
●会　長　名／大沼　剛宏
●事務局住所／〒985-0016
宮城県塩竈市港町1-6-20
●事務局連絡先／TEL:022-367-5111



単会PR

塩釜YEGでは今年度「ページをめくれ！ ～未来は僕らの手の中～」をスローガンに掲げ、活動しています。地域の将来を担う子どもたちにYEGへの憧れを持ってもらえるような地域を明るく照らす活動を通じて研鑽を重ねています。
当会の伝統を重んじながらも、青年経済人として地域経済発展のため、未来を見据えた様々な挑戦に前向きに取り組んでいます。
YEGのチカラで未来につながる１ページをつくっていきましょう。

⑲ 石巻商工会議所青年部

●設立年月日／昭和61（1986）年11月７日
●会　員　数／63名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／55歳
●年　会　費／36,000円
●会　長　名／宇都宮　光博
●事務局住所／〒986-0822
宮城県石巻市中央二丁目9-18
●事務局連絡先／TEL:0225-22-0145



単会PR

石巻は海、山、川と豊富な資源に恵まれた街です。東日本大震災で傷んだこの町は、地域の力を結集し、また各方面と強力に連携し、そのダメージを乗り越えました。
石巻YEGは、青年経済人として、資質向上と会員間の親睦交流、地域経済への貢献事業を推進すべく活動しております。
今年度は外部団体との交流を図る「渉外委員会」・婚活事業などを通し、若年層の地域定着を目指す「まちづくり委員会」・会員相互のつながりと会員個々の自己研鑽の強化を目指す「会員交流委員会」の３委員会を中心に様々な活動を行っております。
近年、社会情勢はめまぐるしい速さで日々変化しております。石巻YEGは、現在直面している課題に対して、挑戦と革新の精神を持って一歩先へ先駆けて行動し、地域経済へ貢献してまいります。

⑳ 気仙沼商工会議所青年部

●設立年月日／昭和62（1987）年１月24日
●会　員　数／36名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／30,000円
●会　長　名／清水　健佑（しみず　けんゆう）
●事務局住所／〒988-0084
宮城県気仙沼市八日町2-1-11
●事務局連絡先／TEL:0226-22-4600



単会PR

気仙沼YEGは、地域経済の発展と持続可能な社会の実現を目指し、若手経済人が連携しながら様々な活動を展開しています。
本年度も一昨年、昨年と同じく「『Open Innovation』～新時代への革新～」をスローガンに掲げ、「気仙沼みなとまつり」への参画をはじめ、宮城県連・東北ブロックYEG・日本YEGとの連携を深化させ、広域的なネットワークを活かした取り組みを推進してまいります。
また、地域の未来を見据えた事業として、過年度に実施した政策提言のモニタリングや地域情報総合サイト「けせんぬまっぷ」の運営を通じ、地域の魅力発信と情報発信力の強化にも取り組みます。さらに、会員企業への経営学習機会の提供や交流事業の実施により、地域内外とのつながりを深めながら、会員一人ひとりのスキルアップとネットワーク拡大を目指しています。
私たち気仙沼YEGは、地域の一翼を担う存在として、自ら考え行動し、気仙沼の明るい未来を創造する原動力となるべく、今年度も力強く活動してまいります。

㉑ 古川商工会議所青年部

●設立年月日／昭和62（1987）年12月７日
●会　員　数／66名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／45歳
●年　会　費／36,000円
●会　長　名／鹿郷　敦史
●事務局住所／〒989-6166
宮城県大崎市古川東町5番46号
●事務局連絡先／TEL:0229-24-0055



単会PR

本年、古川YEGでは、ビジネス交流・仲間づくり、自己研鑽・スキルアップ、地域貢献・地域活性化、政策提言活動の日本YEGが掲げる四つの柱を中心に四つの委員会を組織して活動を展開して参ります。また、本年度のスローガンであります『Road to dream 夢への挑戦が紡ぐ、未来へ続く道』に基づき、「地域の夢」「単会の夢」「会員個人の夢」というこの三つの夢に、政策提言事業やおおさき元氣祭事業、会員拡大と会員交流事業、自企業発展につながるビジネス研修を通じて挑戦して参ります。
そして、単会にとって大きな目標であります、令和９年度に古川の地で開催予定の東北ブロック大会へ向けて、日本YEGや東北ブロックへと多くの出向者も輩出させて頂きながら、対内と対外の両輪を力強く回していく所存です。ぜひとも、令和９年度東北ブロック大会古川大会へも皆様ご参加のほどよろしくお願いいたします！

㉒ 白石商工会議所青年部

●設立年月日／昭和61（1986）年３月17日
●会　員　数／13名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／53歳
●年　会　費／27,000円
●会　長　名／山田　吉訓
●事務局住所／〒989-0256
宮城県白石市本鍛冶小路13
●事務局連絡先／TEL:0224-26-2191



単会PR

私たちは「点を結び、円となれ」をスローガンに掲げ、会員のみならず、地域事業者も巻き込んだオープンな学びと交流の場を創出しています。現在は組織の魅力を高める足元固めに注力しており、少人数だからこそ全員が主役となって対話できる風通しの良さが自慢です。今後も、若手経営者や後継者が共に成長できる場として、まずは自単会の充実を図りながら、新たな仲間を温かく迎える強固な組織体制を築いてまいります。

単会紹介　秋田県商工会議所青年部連合会

㉓ 秋田商工会議所青年部

●設立年月日／昭和47（1972）年６月29日
●会　員　数／190名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／36,000円
●会　長　名／中田　光
●事務局住所／〒010-0923
秋田県秋田市旭北錦町1番47号
●事務局連絡先／TEL:018-866-6677



単会PR

令和8年度の秋田YEGは、『CORE LINK ～地域の力をつなぎ、連鎖で築く未来～』をスローガンに掲げ、新たな舞台を開演いたしました。
私たちは、地域の行政・教育・金融・報道機関、そして全国のYEGの仲間といった多様なステークホルダーと緊密に連携し、こどもの未来への積極的関与、地域連携によるイノベーションの創出、企業の存在価値の検証、そして起業やM&A、新事業への挑戦 という4つの幕（柱）を軸に活動を展開しています。
会員企業がYEGを通じて地域と共に成長し、確固たる存在意義を持って秋田の未来を変える「変革のトップランナー」となることを目指し、強固なネットワークで果敢に挑戦を続けてまいります。

㉔ 能代商工会議所青年部

●設立年月日／昭和62（1987）年12月16日
●会　員　数／52名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／36,000円
●会　長　名／菊池　幸礼
●事務局住所／〒016-0831
秋田県能代市元町11-7
●事務局連絡先／TEL:0185-52-6341



単会PR

映画「THE FIRST SLAM DUNK」の山王工業のモデル校、能代工業（現：能代科学技術）高校があり、城郭型灯篭として日本一の高さを誇る「天空の不夜城」、JAXAのロケット実験場、洋上風力発電による再生可能エネルギーの街、秋田県能代市、能代YEGです。
今年度「Changes for the Better ～より良い未来への変革～」をスローガンにYEG活動を通じて、地域の魅力・YEGの魅力を感じられるよう１年間活動してまいります。

㉕ 大館商工会議所青年部

●設立年月日／昭和54（1979）年８月20日
●会　員　数／55名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／34,000円
●会　長　名／三浦　祥平
●事務局住所／〒017-0044
秋田県大館市御成町二丁目８番14号
●事務局連絡先／TEL:0186-43-3111



単会PR

秋田県大館市は、比内地鶏やきりたんぽ、曲げわっぱといった全国に誇る名産品の街。そして、あの「忠犬ハチ公」が生まれた、秋田犬のふるさとでもあります。
今年度は「チャレンジするほど面白い！　～ビジネスとYEGと私～」をスローガンに掲げ、挑戦することを心から楽しみ、新たな挑戦を心から尊重しあえる団体となるよう会員一同協力して参ります！

㉖ 横手商工会議所青年部

●設立年月日／平成７（1995）年10月２日
●会　員　数／46名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／35,000円
●会　長　名／打川　茂
●事務局住所／〒013-0036
秋田県横手市駅前町6-33
●事務局連絡先／TEL:0182-32-1170



単会PR

横手市は、２月には幻想的な“かまくら”や勇壮な“ぼんでん”、８月には全国にも類を見ない木と藁でできた重さ800キロにもなる屋形船を20人前後の人間で担ぎ豪快にぶつけあう“横手の送り盆まつり”があります。その他にも、“よこて桜まつり”や秋の“よこての菊まつり”などが行われる、四季を大切にしている街です。
また、全国的に有名な“横手やきそば”をはじめ、“増田まんが美術館”や“増田の内蔵”、個性豊かな“地酒”などといった観光資源、地域資源も豊富です。
横手商工会議所青年部では、これらの文化や地域資源を誇りに思い、さまざまな事業を通じて地域の活性化に取り組んでいます。当会は昨年、創立30周年記念式典を無事執り行うことができ、その際は各地の単会の皆様にも大変お世話になりました。これから次の40周年へ向けて一歩一歩進んでまいりますので、これまで同様のお付き合いと、ぜひこの魅力溢れる横手のまちと人々に会いにお越しください。

㉗ 湯沢商工会議所青年部

●設立年月日／平成元（1989）年４月１日
●会　員　数／34名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／35,000円
●会　長　名／岩野　豪
●事務局住所／〒012-0826
秋田県湯沢市柳町一丁目1-13
●事務局連絡先／TEL:0183-73-6111



単会PR

湯沢YEGでは、青年経済人として日々研鑽を積み、それぞれの能力を発揮しながら、自身の事業所の発展や地域と会員自身の活性化に取り組んでおります。また、８月の「七夕絵どうろうまつり」や２月の「犬っこまつり」など、湯沢ならではの行事を通じ、地域に根ざした活動も展開しています。ぜひ湯沢に足を運び、地域の魅力と私たちの取り組みをご体感ください。

㉘ 大曲商工会議所青年部

●設立年月日／平成９（1997）年６月１日
●会　員　数／69名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／40,000円
●会　長　名／齋藤　健太郎
●事務局住所／〒014-0027
秋田県大仙市大曲通町1-13
●事務局連絡先／TEL:0187-62-1262



単会PR

大曲YEGは毎年70万人ものお客様が来場される全国花火競技大会「大曲の花火」の会場運営をはじめ、青年部が主管する商工会議所野球大会の運営、継続事業である商工会議所まつり、市民夏まつりへの参画、そして商工会議所と連携し「食」をテーマにした新たな観光振興への取組を行っております。
また地元の子供たちへ「大曲の花火」の魅力と誇りを感じてもらえるよう花火についての課外授業を開催し、地域の活性化事業と併せて、未来を担う子供たちの健やかな成長を願う事業運営を行っております。

単会紹介　山形県商工会議所青年部連合会

㉙ 山形商工会議所青年部

●設立年月日／昭和58（1983）年４月14日
●会　員　数／107名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／45歳
●年　会　費／50,000円
●会　長　名／大場　康平
●事務局住所／〒990-0042
山形県山形市七日町3-1-9
●事務局連絡先／TEL:023-622-4666



単会PR

山形YEGでは、多くのイベントや交流を通じて自己研鑽や仲間づくりをしております。
・山形の一大イベントである「日本一の芋煮会フェスティバル」の開催
・山形花笠まつりでの「やまがた花笠食フェスタ in 文翔館」による街中の賑わいづくり
・初市の伝統を継承していく為の初飴製作の実演や納豆汁の配布
・地元プロスポーツチームの応援の為に街中へのフラッグ掲示 他にも様々な地域を盛り上げる活動やイベントを開催!!
また、新潟県の村上YEGと友好YEGの協定を結び、山形県を飛び出して交流と情報交換の場を作っています。

㉚ 酒田商工会議所青年部

●設立年月日／昭和61（1986）年５月
●会　員　数／111名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／49歳
●年　会　費／30,000円(入会初年度20,000円)
●会　長　名／菅原　脩太
●事務局住所／〒998-0044
山形県酒田市中町2-5-10
●事務局連絡先／TEL:0234-22-9311



単会PR

今年度で当単会は創立40周年の節目を迎えます。前年度「Well-being Community」というスローガンを掲げて活動を行い、２か年で会員拡大活動を行わずとも約40名の新たな仲間が加わりました。こういった現象が起こるのは、当会特有の何かがあると考えています。本年度スローガン「Re-Origin」はこの“原点”に立ち返り、改めて私たちの強みやあり方を見つめ直して、これから10年、20年、100年と、酒田YEGがこれからも良い組織で在り続けること、ひいては会員事業所の発展、地域の永続的繁栄に寄与する組織づくりと活動を行って参ります。

㉛ 鶴岡商工会議所青年部

●設立年月日／昭和34（1959）年７月
●会　員　数／62名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／49歳
●年　会　費／30,000円
●会　長　名／秋山　和宏
●事務局住所／〒997-8585
山形県鶴岡市馬場町8-13
●事務局連絡先／TEL:0235-24-7711



単会PR

昨年は第44回東北ブロック大会山形つるおか大会の開催にあたり、多くの皆様のご登録をいただき、誠にありがとうございました。
令和８年度は、「共創～地域と共に、未来を描く～」をスローガンに掲げ、２年後に控える「鶴岡YEG70周年」に向けての土台づくり、具体的には「会員拡大」と、将来的な政策提言を目標とした「風会議」に注力いたします。
仲間を一人でも多く集め結束を図っていくと同時に、地域の課題を見つめ、行政や関係機関と共に「より良い鶴岡の未来」を描くことこそ、私たち鶴岡の青年経済人の使命と考えます。一人ひとりが地域の課題解決を主体的に考え、「地域を見つめ、未来を描く」ための環境づくりを進めます。そして、これまで築いてきた絆と経験を糧に、新たな挑戦へと踏み出し、地域に誇れる青年部として存在感を高めてまいります。

㉜ 米沢商工会議所青年部

●設立年月日／昭和57（1982）年12月13日
●会　員　数／110名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／45歳
●年　会　費／36,000円
●会　長　名／鈴木　慎太郎
●事務局住所／〒992-0045
山形県米沢市中央４丁目1-30
●事務局連絡先／TEL:0238-21-5111



単会PR

米沢YEGの最大の魅力は、立場や業種を超えた「仲間」の存在です。お互いの考えや想いを尊重し、語り合い、行動することで生まれる信頼関係こそが、個々の力を大きな力へつなげます。まずは仲間同士がしっかりとつながり合うこと、それが全ての原点だと考えております。そして、そのつながりをYEGの中だけに留めるのではなく、地域へと広げていく。行政や関係団体そして地域の方々と想いを共有し共に歩むことで、米沢の未来に新たな価値を生み出していきたい。青年経済人だからこそできる挑戦と発信が、地域との新たなつながりを築く力になると私たちは信じています。
令和８年度のスローガン「仲間をつなげ、地域とつなげる」には、その一つ一つの積み重ねによって米沢YEGの存在意義をより確かなものにし、次世代へとつなげるという想いを込めております。仲間と共に行動し、地域と共に歩む一年にすべく、メンバー一丸となって活動してまいります。

㉝ 新庄商工会議所青年部

●設立年月日／昭和60（1985）年３月26日
●会　員　数／36名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／49歳
●年　会　費／30,000円
●会　長　名／矢口　奈々
●事務局住所／〒996-0022
山形県新庄市住吉町3-8
●事務局連絡先／TEL:0233-22-6855



単会PR

新庄YEGは、「次世代に繋がる 今を創る －そして、伝説へ－」をスローガンに掲げ、雪とまつりのふるさと新庄から、地域を盛り上げる活動を展開しております。
新庄まつりをはじめとする地域文化や、人と人との温かなつながりを大切にしながら、交流事業や地域イベントへの参画を通じて、新庄・最上地域の魅力発信に取り組んでおります。
また、自然豊かなこの地域で育まれてきた「助け合い」の精神を受け継ぎ、地域に必要とされる青年経済団体として、仲間と共に挑戦を続けております。
東北各地の仲間との繋がりを大切にしながら、これからも新庄らしい元気と笑顔を発信してまいります。

㉞ 長井商工会議所青年部

●設立年月日／昭和50（1975）年４月１日
●会　員　数／62名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／49歳
●年　会　費／40,000円（令和８年度）
●会　長　名／今野　孝浩
●事務局住所／〒993-0013
山形県長井市館町北６番27号
●事務局連絡先／TEL:0238-84-5394



単会PR

「シンYEG ～それぞれのシン～」のスローガンのもと、今野孝浩会長率いる、62名の会員が一丸となって各事業に取り組んで参ります。
今年度は、令和７年度に引き続きイベントの開催や風会議、また地域行事への参加を通じて会員拡大活動をいたします。
政策提言委員会を作り、地域に新たなきっかけを生み出していきます。
さらに、山形県商工会議所青年部連合会監事、副会長、理事、東北ブロック商工会議所青年部連合会理事を輩出いたします。対外的活動も非常に多い１年になることと存じますので、ぜひ長井YEGをよろしくお願いいたします。

㉟ 天童商工会議所青年部

●設立年月日／平成５（1993）年６月16日
●会　員　数／58名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／45歳
●年　会　費／30,000円
●会　長　名／阿部　徹
●事務局住所／〒994-0013
山形県天童市老野森1-3-28
●事務局連絡先／TEL:023-654-3511



単会PR

令和８年度は「華花煌進～一人ひとりの花が集い、天童の未来を煌めかせる～」をスローガンに掲げており、青年部一人ひとりの想いと行動が結集し、地域に新たな価値と活力を生み出しながら未来へと力強く歩み続けたいという強い願いが込められています。
私たちを取り巻く環境は、かつてないスピードで変化しております。青年経済人として、変化に柔軟に対応していくために、研鑽と交流を重ね、会員一人ひとりの「華」が集まり、「花」となり、その花が放つ「煌」めきが地域を照らす存在となるよう、青年部一丸となって歩みを「進」めてまいります。

単会紹介　福島県商工会議所青年部連合会

㊱ 福島商工会議所青年部

●設立年月日／昭和60（1985）年４月１日
●会　員　数／73名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／48歳
●年　会　費／50,000円
●会　長　名／西形　吉和
●事務局住所／〒960-8053
福島県福島市三河南町1-20
コラッセふくしま8階
●事務局連絡先／TEL:024-572-7118



単会PR

2026年、福島商工会議所青年部42年目。
40年の節目に皆様にありがとうを伝え、41年目に地域と組織の再デザインに取り組み、先輩たちから受け継いだこの青年部の活動は未来に向けて無事に繋がってきました。これからも、ビジョンに向かって進むパワー、一体感、レジリエンス、スキル、いろいろなものが含まれた、青年部による青年部らしい活動で「らしさ」を余すところなく発揮し、多くの方に「それでこそ青年部だ」「それでこそあなただ」と言われるような活動を増やして地域の経済的発展の支えとなる一年にして参ります。

㊲ 郡山商工会議所青年部

●設立年月日／昭和60（1985）年10月12日
●会　員　数／128名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／45歳（48歳まで延長制度あり）
●年　会　費／36,000円
●会　長　名／渡辺　健史
●事務局住所／〒963-8005
福島県郡山市清水台1-3-8
●事務局連絡先／TEL:024-921-2621



単会PR

第45回東北ブロック大会福島そうま大会、開催おめでとうございます。
郡山商工会議所青年部は、令和７年度に創立40周年を迎え、「郡山YEG中期ビジョン2025-2029」を発表致しました。
この中期ビジョンを達成するため、令和８年度は、
柱①「キャリアロードマップ ～革新的な事業～」
柱②「政策提言 ～プレコンセプションケア～」
を軸に、地域課題と真摯に向き合いながら、次代へ繋がる活動を展開してまいります。
仲間とともに挑戦を続け、郡山の未来を切り拓いてまいります。

㊳ 会津若松商工会議所青年部

●設立年月日／昭和60（1985）年11月22日
●会　員　数／70名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／45歳
●年　会　費／40,000円
●会　長　名／相馬　寛司
●事務局住所／〒965-0816
福島県会津若松市南千石町6-5
●事務局連絡先／TEL:0242-27-1212



単会PR

昨年度、会津若松YEGは、設立40周年という節目を迎えました。これまで活動を支えてこられた先輩諸氏の功績と歩みに感謝と敬意を持ち、これからも、青年部ならではの情熱と行動力で、地域社会に貢献してまいります。
今年度は、「原点に灯を、未来に絆を」をスローガンに掲げ、変化の時代にふさわしい新たな挑戦に踏み出しました。地域課題が複雑化する現代において、青年経済人としての責任を果たすべく、多様な価値観と専門性を持つ仲間、そして行政・企業・市民団体と連携し、持続可能な地域の未来づくりに取り組んでまいります。

㊴ いわき商工会議所青年部

●設立年月日／昭和59（1984）年６月25日
●会　員　数／37名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／24,000円
●会　長　名／根本　一也
●事務局住所／〒970-8026
福島県いわき市平字田町120 ラトブ６階
●事務局連絡先／TEL:0246-25-9151



単会PR

いわきYEGは、親会が掲げる基本方針「進化、新化、伸化、深化」に呼応し、思考を即座に実践へと繋げる「考動」の先駆者となるべく、組織のシンカを図ります。主催事業であるジュニアエコノミーカレッジの実施形態をコロナ前に戻し、次世代のYEGメンバーに引き継いでいけるよう運営主体としてのノウハウを再構築します。

㊵ 白河商工会議所青年部

●設立年月日／昭和57（1982）年８月26日
●会　員　数／53名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／45歳
●年　会　費／40,000円
●会　長　名／吉見　優一郎
●事務局住所／〒961-0957
福島県白河市道場小路96-5
●事務局連絡先／TEL:0248-23-3101



単会PR

白河YEGは、東北ブロックの最南端に位置する単会です。白河市は、豊かな自然に囲まれながらも、衣・食・住の基盤が充実しており、東北新幹線や東北自動車道をはじめとする高速交通体系にも恵まれ、首都圏へのアクセスや広域的な交通利便性に優れた地域です。また、仙台育英高校の甲子園優勝でも話題となった、みちのくの玄関口「白河の関跡」や、一万円札の肖像となった渋沢栄一が敬愛した白河藩主・松平定信公が築造した、日本最古の公園といわれる「南湖公園」など、史跡名所や歴史的建造物も数多く存在する歴史のまちでもあります。このように、豊かな自然と歴史が融合した暮らしやすい生活環境が形成されている一方で、もとは城下町であった旧市街地の衰退、少子高齢化、若年層の人口流出などが大きな課題となっています。白河YEGでは、行政や他団体と連携し、旧市街地で開催する夏の事業「しらかわ らくがき×あそびの日」や、子どもたち、地元企業・団体が手がけたペットボトルツリーが冬の夜空を彩る「しらかわ ひかり×きおくの日」などの事業を通じ、地域活性化と、地元に愛着を持つ健全な青少年の育成に取り組んでいます。今後は、これまでの事業活動に加え、政策提言にもより注力し、事業とは異なる角度から、より良いまちづくりに貢献してまいりたいと考えております。結びとなりますが、白河の魅力は自然と歴史だけではありません。キーワードは「ラーメン」「ダルマ」「自転車」。交通利便性に優れた白河へ、ぜひ道すがらお立ち寄りいただき、3つのキーワードをご自身で体験し、紐解いていただければ幸いです。皆様のお越しを、心よりお待ちしております。

㊶ 原町商工会議所青年部

●設立年月日／昭和56（1981）年６月29日
●会　員　数／76名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／47歳
●年　会　費／48,000円
●会　長　名／新妻　俊一
●事務局住所／〒975-0006
福島県南相馬市原町区橋本町１-35
●事務局連絡先／TEL:0244-22-1141



単会PR

原町YEGは福島県の太平洋北部に位置する南相馬市原町区に所在しております。創立45周年を迎える今年度は「出会い、学び、支え合う 次代へ続く原町YEG ～繋がりを未来へ～」のスローガンのもと地域に根差した様々な事業を展開しています。私たちは、青年経済人としての自覚と誇りを持ち、地域から必要とされる存在であり続けるために、常に変革の意識を持ち、新たな挑戦に取り組んでいます。先人たちが築きあげた基盤の上に、時代に即した価値を創造し、未来へと繋げてまいります。今年度の活動では「日本商工会議所青年部YEG大賞」の受賞を目標に掲げ、以下の重点事業を展開します。
○自己研鑽：経営者の資質を高める研修や視察の実施　　○ビジネス交流：地域内外との連携による販路拡大・情報共有の拡大
○地域貢献：地域資源を活用したまちづくり事業の実施　　○政策提言：地域の課題を捉えた積極的な提言活動の展開
○会員親睦・拡大：多様な交流を通じた組織の活性化と新たな仲間の獲得
さらに、45周年記念事業として将来を見据えた原町YEGの中期ビジョンの策定にも取り組み、持続可能で柔軟性ある組織基盤の構築を目指しています。これらの取り組みを通じて、地域経済の発展と次代を担う若きリーダーの育成を図るのが原町商工会議所青年部です。

㊷ 会津喜多方商工会議所青年部

●設立年月日／昭和42（1967）年11月25日
●会　員　数／43名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／45歳
●年　会　費／正 会 員：36,000円
賛助会員：18,000円
●会　長　名／齋藤　琢磨
●事務局住所／〒966-0827
福島県喜多方市字沢ノ免7331番地
●事務局連絡先／TEL:0241-24-3131



単会PR

令和８年度は「地域の力を、次の世代へ」をスローガンに掲げ、この喜多方で生きる若者たち、そしてその次の世代を担う子どもたちが、胸を張って「この街が好きだ」と言える喜多方を未来へつないでいくため、青年経済人として挑戦を恐れず、地域が抱える課題に真摯に向き合い、その解決に向けて行動を続けてまいります。
また、会津喜多方YEGは令和９年度に創立60周年という大きな節目を迎えます。先人諸兄が築き上げてこられた歴史と想いを受け継ぎながら、次代へとつながる新たな一歩を踏み出し、地域とともに歩む青年部として、更なる発展に努めてまいります。

㊸ 須賀川商工会議所青年部

●設立年月日／昭和61（1986）年５月24日
●会　員　数／62名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／48歳
●年　会　費／25,000円
●会　長　名／志賀　達也
●事務局住所／〒962-0844
福島県須賀川市東町59-25
●事務局連絡先／TEL:0248-76-2124



単会PR

シュワッチ！「光の町」須賀川YEGです！
特撮の神様・円谷英二監督の故郷であり、M78星雲と姉妹都市を結ぶ須賀川市。私たち須賀川YEGは、ウルトラマンのような「不屈の闘志」と「地域を愛する優しさ」を胸に活動するヒーロー集団です！
相馬大会という最高のステージで、東北の仲間たちと「光の絆」を深められることを楽しみにしています。
我々の合言葉は「３分と言わず、一晩中語り合おう！」
相馬の地で、皆様のカラータイマーを真っ赤に熱く燃え上がらせます！

㊹ 二本松商工会議所青年部

●設立年月日／昭和54（1979）年５月１日
●会　員　数／56名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／48歳
●年　会　費／36,000円
●会　長　名／荒木　清明
●事務局住所／〒964-0917
福島県二本松市本町1-60-1
●事務局連絡先／TEL:0243-23-3211



単会PR

私たち二本松YEGは会員同士が協力し合いながら感謝の気持ちを忘れずに一年間活動して参ります。そして、地域の継続的な発展に繋げられるよう、記憶に残るような事業開催を目指して取り組んでいきたいと思います。

㊺ 相馬商工会議所青年部

●設立年月日／昭和46（1971）年４月１日
●会　員　数／58名（令和８年４月１日現在）
●卒 業 年 齢／50歳
●年　会　費／30,000円
●会　長　名／飯塚　哲生
●事務局住所／〒976-0042
福島県相馬市中村字桜ヶ丘71番地
●事務局連絡先／TEL:0244-36-3171



単会PR

私たち相馬商工会議所青年部は､｢変革者であれ！｣をスローガンに掲げ､地域の未来を切り拓く青年経済人の団体です。私たちは、変化を恐れず、誰かを待つのではなく、自ら考え、自ら行動し、地域に新たな価値を生み出す挑戦を続けています。一千有余年の歴史と誇りを受け継ぐ相馬だからこそ、守るべきものを守りながら、変えるべきものには果敢に挑みます。仲間とともに学び、成長し、地域経済の発展と次世代へ誇れるまちづくりを実践するとともに、全国へ相馬の魅力を発信し、新たな時代を切り拓く「変革者」として挑戦し続けます。

令和８年度　各種大会日程

【ブロック大会】

令和８年９月４日(金)～９月５日(土)	北海道ブロック大会	北海道　函館YEG
令和８年９月11日(金)～９月12日(土)	北陸信越ブロック大会	長野県　須坂YEG
令和８年９月18日(金)～９月19日(土)	近畿ブロック大会	福井県　武生YEG
令和８年９月25日(金)～９月26日(土)	四国ブロック大会	高知県　宿毛YEG
令和８年10月２日(金)～10月３日(土)	九州ブロック大会	福岡県　柳川YEG
令和８年10月９日(金)～10月10日(土)	東海ブロック大会	三重県　松阪YEG
令和８年10月17日(土)～10月18日(日)	東北ブロック大会	福島県　相馬YEG
令和８年10月23日(金)～10月24日(土)	関東ブロック大会	茨城県　日立YEG
令和８年10月30日(金)～10月31日(土)	中国ブロック大会	岡山県　津山YEG

【第44回全国リーダーズ研修会】

令和８年11月12日(木)～11月14日(土)

主　管：沖縄県　宮古島YEG

開催地：沖縄県宮古島市

【第46回全国大会】

令和９年２月24日(水)～２月27日(土)

主　管：奈良県商工会議所青年部連合会

開催地：奈良県奈良市

祝

日本商工会議所青年部
第 45 回東北ブロック大会福島そうま大会

ご盛会おめでとうございます



千年先の未来へ

～Rise up, Leaders!～

YEG 日本商工会議所青年部第44回全国リーダーズ研修会

最南端YEGの地　沖縄宮古島会議

令和8年 11月 12日(木)-14日(土)

主　催：日本商工会議所青年部
主　管：宮古島商工会議所青年部
副主管：沖縄県商工会議所青年部連合会

日本商工会議所青年部
第46回全国大会

あをによし奈良大会

あなたと繋がる、未来が動き出す

Nexus of links

The 46th YEG National Conv. in Nara

令和9年
2月24日(水)
～2月27日(土)

主催/日本商工会議所青年部
主管/奈良県商工会議所青年部連合会
副主管/近畿ブロック商工会議所青年部連合会

～人が織りなす東北の未来～

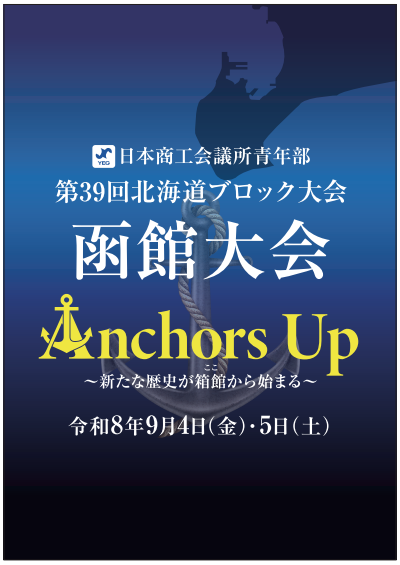


YEG 日本商工会議所青年部 第46回東北ブロック大会

みやぎ宝の都（くに）
おおさき古川大会

令和９年 8.27㊎・28㊏

主催：東北ブロック商工会議所青年部連合会 / 日本商工会議所青年部
主管：古川商工会議所青年部　副主管：宮城県商工会議所青年部連合会


日本商工会議所青年部
第39回北海道ブロック大会
函館大会
Anchors Up
～新たな歴史が箱館から始まる～
令和8年9月4日(金)・5日(土)


日本商工会議所青年部 第46回北陸信越ブロック大会
Creating Civic Pride
紡ぐ時間
想いが繋がる新たなかたち。
～地域を見つめ、未来を描く～
信州須坂大会
SUZAKA
令和8年 9/11(金)▶12(土)

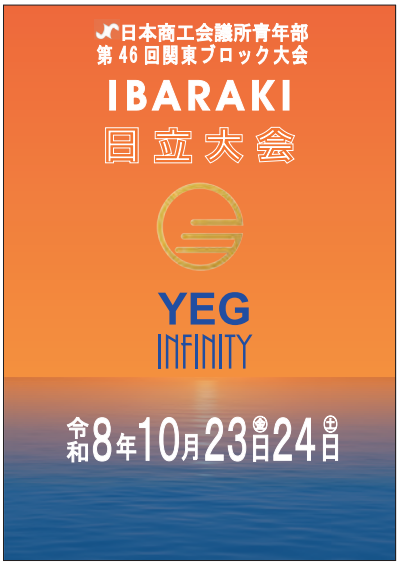

日本商工会議所青年部
第44回近畿ブロック大会
MNC
MAKE A NEW CHAPTER
～叡智結集 つくろう未来～
越前たけふ大会
令和8.9.18FRI▶19SAT


KOKUSHI MUSOU
～すべての地域は人から変わる～
国士無双
令和8年9月25日(金)26日(土)
日本商工会議所青年部 第43回四国ブロック大会
宿毛大会


Co-Creation
共に描く未来構図
日本商工会議所青年部
第46回九州ブロック大会
水郷やながわ大会
令和8年10月2日(金)・3日(土)


ぎゅっ!と抱きしめて
僕らの街の未来ソウゾウ
日本商工会議所青年部
第39回 東海ブロック大会
松阪大会
令和8年
10月9日(金)▶10日(土)


いっぺん
そうま
来てくだ
祭
令和8年10月17日(土)・18日(日)
日本商工会議所青年部 第45回東北ブロック大会
福島そうま大会


日本商工会議所青年部
第46回関東ブロック大会
IBARAKI
日立大会
YEG
INFINITY
令和8年10月23日(金)24日(土)


日本商工会議所青年部 第44回中国ブロック大会
「つやま大会」
一大会スローガン一
伍縁繁栄
きんちゃい つやまで繋ぐ ぶちええご縁
令和8年 10/30Fri ▸▸ 31Sat

日本商工会議所青年部　第45回 東北ブロック大会

福島そうま大会

ご協賛企業・団体各位ご紹介

（順不同）



日本商工会議所青年部

第45回 東北ブロック大会 福島そうま大会

開催おめでとうございます

R8企画

がんばれおのちゃん！



令和８年度 企画委員会

森田 考介（富山 YEG）/ 林 千晃（恵那 YEG）/ 森 貴行（和泉 YEG）/ 徳田 祐介（白山 YEG）/ 宇都宮 健吾（松山 YEG）/ 瀬間 誠（富岡 YEG）
長谷川 弘平（黒部 YEG）/大塚 泰造（広島）/ 佐藤 陽子（さいたま YEG）/ 岡田 浩徳（奈良 YEG）/ 下村 淳矢（小城YEG）/松田哲也（関 YEG）
藤平 僚馬（釧路 YEG）/ 堀江 雄介（北見 YEG）/ 早坂 憲佳（古川 YEG）/ 小野 芳一（相馬 YEG）/ 林 昌克（沼田 YEG）/ 早川 涼太（柏 YEG）
田中 潤（相模原 YEG）/ 朝倉 頼人（黒部 YEG）/ 井指 章弘（豊川 YEG）/ 近藤 祐真（武生 YEG）/ 山川 彪人（大津 YEG）/ 大塚 亮平（彦根 YEG）
嵯峨根 隆史（舞鶴 YEG）/ 松浦 崇之（大和高田 YEG）/ 森本 宏（津山 YEG）/ 藤井 謙佑（福山 YEG）/ 石井 次哉（山陽 YEG）/ 丸宮 朋（鳴門 YEG）



令和８年度
日本商工会議所青年部

第 45 回　東北ブロック大会

変革

福島そうま大会

開催おめでとうございます

ビジネス推進委員会　委員長　伊藤 一樹

佐藤 宏隆　山田 友紀　山下 英丈　近藤 誠利　栢原 陽子　森　健
松本 修吾　田中 毎美　加藤 沙織　西村 昌也　春木 未央子　金城 正基
畑川 裕喜　藤井 謙次　齋藤 真宏　髙木 洋平　礒山 大地　山本 まいこ
多賀 正貴　三木 康行　三宅 博雄　永山 和功　薮本 晃浩　田中 文也
松尾 康隆　田中 信成　中島 俊輔　江崎 正徳













令和８年度　日本商工会議所青年部　ビジネス推進委員会一同


企画はミカタ!!
外山 尋久
(函館YEG)
中川 恭行
(桑名YEG)
吉池 晴信
(須坂YEG)
長谷川 弘平
(黒部YEG)
山本 竜義
(津山YEG)
森川 龍一
(浜松YEG)
田河 朋裕
(相馬YEG)
千葉 直樹
(日立YEG)
植木 晴美
(須坂YEG)
伊藤 祐規
(郡山YEG)
中山 貴史
(宿毛YEG)
鳥津 雄太
(八幡浜YEG)
山本 靖将
(川口YEG)
江里口 剣
(小城YEG)
大塚 泰造
(広島YEG)
比嘉 正樹
(宮古島YEG)
副運営幹事
吉澤 寿也
(伊勢崎YEG)
福本 真衣
(一宮YEG)
副運営幹事
深谷 武史
(岡崎YEG)
副運営幹事
岡田 浩徳
(奈良YEG)
塚原 一心
(関YEG)
副運営幹事
脇 豊
(松阪YEG)
副運営幹事
林 大輔
(大分YEG)
副運営幹事
吉田 純崇
(鶴岡YEG)
運営幹事
長野 基哉
(小松YEG)
筆頭副委員長
関原 範之
(射水YEG)
監事
森 貴行
(和泉YEG)
副委員長
高澤 翼
(さいたまYEG)
ともくん
めっちゃ応援しとるでな!!!
副委員長
大橋 正明
(柳川YEG)
令和7年度 企画委員会
委員長 泉 晃多 (鈴鹿YEG)
副委員長
林 千晃
(恵那YEG)
日本商工会議所青年部
第45回東北ブロック大会 福島そうま大会
開催 おめでとうございます!!

祝

日本商工会議所青年部
第45回東北ブロック大会
福　島　そ う ま 大　会
ご盛会おめでとうございます！



令和8年度 福島県商工会議所青年部連合会
会長 堀江 俊介

福島商工会議所青年部 会長 西形 吉和	郡山商工会議所青年部 会長 渡辺 健史	会津若松商工会議所青年部 会長 相馬 寛司
いわき商工会議所青年部 会長 根本 一也	白河商工会議所青年部 会長 吉見 優一郎	原町商工会議所青年部 会長 新妻 俊一
会津喜多方商工会議所青年部 会長 齋藤 琢磨	須賀川商工会議所青年部 会長 志賀 達也	二本松商工会議所青年部 会長 荒木 清明





目指したのは
ワンランク上のシンプルさ



総合建設業

草野建設株式会社

相馬市程田字形部田 26 番地　TEL.0244-36-1666

建設　住宅

日本商工会議所青年部第45回東北ブロック大会
福島そうま大会　開催おめでとうございます。

フレスコ株式会社

https://fresco-k.com/
TEL：0244-36-3458



福島店舗4店舗　相馬店，鹿島店，東原町店，北町店
宮城店舗14店舗　亘理店，大河原店，角田店，蔵王店，
美田園店，岩沼西店，丸森店，山下駅前店，白石店，
柴田店，矢本店，名取増田店，赤井店，岩沼東店



豊かな「くらしづくり」に奉仕する

相双五城信用組合

夢と希望のパートナーバンク

理事長　梅澤　国夫

〒976-0042
福島県相馬市中村字大町 69 番地
電話 0244-36-5561　FAX 0244-36-7035



株式会社　石匠松もと

＿＿＿石とともに、想いをかたちに。＿＿＿

大切な方の想う気持ちに、
私たちは真心を込めて
お応えします。

当社の強み

国内産（宮城県丸森町）の石

「伊達青糠目石」

の採掘元です。



美しい青みと、きめ細やかな質感が
特徴の希少な国産石です。

主な事業内容

墓石全般工事	新設・リフォーム・石材加工・研磨・移転・お墓じまい・清掃 戒名彫刻など。
砕石製造販売	当社では砕石販売も行っております。各種サイズお問合せ下さい。

どんなことでもお気軽にご相談下さい。

株式会社　石匠松もと

976-0035
福島県相馬市程田字形部田36-1
TEL　0244-36-7883
https://www.sekisho-matsumoto.com/



未来実現者

IHI

株式会社IHI 相馬事業所 〒976-0001 福島県相馬市大野台１丁目２番１号 www.ihi.jp



めんの旭屋

株式会社旭屋

なみえ焼そば製麺所



極太麺と濃厚ソースが生み出す、
なみえ焼そばの魅力をお届けします。

ご注文は

こちらから

ISO9001・14001 認証取得

ONONAKAMURA

ひとりひとりに 輝く未来を



株式会社 小野中村

代表取締役 **植村　賢二**

〒976-0013 福島県相馬市小泉字高池 88-1
電話：0244-26-7821　FAX：0244-26-7822
会社 HP：https://www.on-cc.jp

KOUEI DOBOKU



株式会社　広栄土木

代表取締役　小幡　広宣

相馬市塚部字本社 93-1

Tel.0244-26-5910　fax.0244-26-5911

HP　https://kouei-doboku.co.jp/

会社 HP





国内旅行　海外旅行の見積り手配
航空券　JR 券　宿泊　カーフェリー　観光バス等の手配
お気軽にお問合せ下さい

福島交通観光㈱相馬営業所

官公庁長官登録旅行業第 1034 号　　福島県相馬市中村字錦町 1-3　℡0244-36-6798

安全最優先と法令順守



福島交通(株)相馬営業所

福島県相馬市中村字錦町 1-3　℡0244-36-2171

Connections Create the Future



For the Continuity of Society

株式会社ヘルシーバンク
岡田　充貴

初代　2代目　3代目　4代目



創業１０９年
地域の宝ものを未来に残す





弊社ホームページ

Photo Studio HOSHI
- いつも何かが新しい -

星 Something is always new
写真館
studio SIAN

@HOSHI_SHASINKAN_SIAN

株式会社　星写真館

代表取締役　西村　昌也
取締役会長　西村　年晴

学校卒業アルバム・写真印刷：TEL0244-35-2047【本店】〒976-0042　福島県相馬市中村字宇多川町83
スタジオ記念写真・和装着付：TEL0244-36-5764【SIAN】〒976-0042　福島県相馬市中村字北町78-18

Arena
COMPANY LIMITED

水まわりが暮らしの快適さをつくる。

福島県知事許可（般－７）第１２７２１号
相馬地方広域水道企業団　給水工事指定店

株式会社 大場設備

代表取締役　大場　康彦

〒976-0015　相馬市塚ノ町二丁目2番地の2

【TEL】0244-36-6111　【FAX】0244-36-6112
【URL】https://oba-setsubi.co.jp

地域とともに育むエネルギー



相馬共同火力発電株式会社

取締役社長　内海　博

本　　店	福島県相馬市中村字塚ノ町65－16	TEL 0244-36-1200
新地発電所	福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺字今神1－1	TEL 0244-62-2201
わくわくランド	新地発電所内	TEL 0244-62-4722
	https://www.somakyoka.co.jp/	

相馬市水産流通関連グループ



一級建築設計事務所
花塚熱学工業有限会社
代表取締役　花塚　豪人
代表取締役　桃澤　智之
相馬市沖ノ内３丁目5-21
TEL0244-36-2334／FAX0244-36-8641

【業務内容】
建築設計・監理・コンサルタント
給排水衛生設備・空調設備・機械器具設置





33%が実感!
アクサ式やりがい効果
※アクサ式導入企業756社のデータより（2022年9月時点）
健康経営アクサ式

アクサ生命

やりがいが集まって、会社はつよくなる。

「離職率が下がり始めている」「生産性がアップしてきた」。いま、経営者の皆様のそんな声が増えています。
それはきっと、アクサの健康経営による「やりがい効果」。
心と身体の健康をケアすることはもちろん、ある会社では「仕事と治療の両立」や「社内サークル活動」などに取り組み、夢や生きがい、働きがいといった「社会的健康」までをサポートしています。
社員一人ひとりがやりがいをもって働ける環境をつくり、会社全体も元気に変えていくために。
アクサ生命がお手伝いします。

アクサ生命は、商工会議所と協力し、会員事業所の各種ニーズ（弔慰金・見舞金制度、退職金制度、リスク対策や事業承継など）を共済制度／福祉制度でサポートしています。

あぶくま信用金庫相馬支店



Face to Face　あなたの街の親近バンク

あぶくま信用金庫

理事長　太田　福裕

相　馬　支　店／福島県相馬市中村字錦町２番地８
TEL　0244-36-5151

本　　部／福島県南相馬市原町区栄町二丁目4番地
TEL　0244-23-5132

SEIYU

人と人とのおつきあい

株式会社 セイユー建設

安全、確実、誠実な物流を

相馬港湾運送 株式会社

代表取締役　阿部　守一

〒976-0021　相馬市原釜字北谷地 295 番地
TEL.0244-26-5201　FAX.0244-26-5271

Only One Earth

TRE HOLDINGS
東京証券取引所プライム市場(9247)

タケエイ

環境を守ることは、未来を守ること。

廃棄物の自社一貫処理体制をいちはやく確立し、
限りないリサイクルに取り組んできた私たちタケエイは、
様々な社会課題を再資源化で解決する『相馬サーキュラーパーク』(相馬市)を通して、
サステナブルな社会の実現に貢献します。

株式会社タケエイ サーキュラーエコノミー支店
福島県相馬市光陽2-2-4　TEL:0244-26-8687(平日 9:00～17:00)

タケエイHPへ

ECO FIRST
環境大臣認定
エコ・ファースト企業

お食事処
たこ九

FMK



相馬から世界へ
MADE IN FMK

フジモールド工業株式会社
事業内容：精密プラスチック成形及び金型設計・製作
ISO認証：9001　14001
本社：相馬
海外拠点：ベトナム、フィリピン（マニラ、セブ島）、インド

船橋屋商事株式会社

事業内容　食品業務用卸売業 / 酒類小売業 / 事業所給食受託業務

〒976-0042 福島県相馬市中村字笹川 32-1
TEL：0244-35-3653　FAX：0244-36-5349　Mail：f-foods@bb.soma.or.jp

Home is the best! 故郷～ふるさと～を20歳若くする

FLORA
Home is the best

株式会社フローラ
https://www.flora-g.co.jp/

冠婚葬祭のお手伝い 結婚式・ご宴会・ケータリング／お葬式・ご法事・仏壇、仏具販売

SINCE 1929
LIONDO
SIGN STUDIO

探求、挑戦、新たな始まり。

Planning 提案
Design デザイン
Fabrication 製作
Installation 施工

有限会社ライオン堂 おかげさまでライオン堂は、2029年に創業100周年を迎えます。
〒976-0013 福島県相馬市小泉字山田 490 TEL.0244-36-5555 FAX.0244-36-4801

挑戦と成長を目指し続ける『総合建設会社』

アイワビルド
株式会社

代表取締役 櫻井 州雄

〒976-0042 福島県相馬市中村字桜ヶ丘 84
TEL：0244-35-3535 FAX：0244-35-6266

ASAHI 確かな技術で明るいくらし

電気工事／電気通信工事／消防施設工事

旭電設工業株式会社

代表取締役 八巻 裕真

住所：〒976-0015 福島県相馬市塚ノ町2丁目5番地の1
TEL：0244(36)2151 FAX：0244(36)2153
E-mail：soumu@asahidensetsu.jp

花キューピット加盟店 16-016
有限会社 飯塚花園
〒976-0031
福島県相馬市百槻字篠竹１１
0244-36-1187 0244-36-1188

宇治茶・茶菓子・陶器の



宇治甘露園

代表 鈴木仁人



〒976-0042
福島県相馬市中村字大町39-5
TEL 0244-36-5620 FAX 0244-26-6012
E-mail administrator@ujikanroen.jp
https://www.rakuten.co.jp/ujikanroen/

楽天市場店

Soma Station Hotel

医療法人社団茶畑会
相馬中央病院
Soma Central Hospital

福島県相馬市沖ノ内三丁目５番地の 18
☎0244-36-6611
FAX.0244-35-4234
理事長 立谷秀清　　院長 竹之下誠一
https://soma-ch.com

福島県知事許可（般－8）第30906号
2級建築士・一般建築施工工事
河内工務店
代表　河内　信一

〒979-2522　福島県相馬市日下石字町場6
TEL.0244-35-5520　FAX .0244-35-5569
業務内容　新築工事・増築工事・改築工事
リフォーム工事

タイヤランド相馬
DUNLOP FALKEN
有限会社 木下タイヤ商会

〒976-0013
福島県相馬市小泉字山田２番地
TEL：０２４４－３５－３８８１
FAX：０２４４－３６－６８８１

共徳丸78

特定非営利活動法人 相馬NPOセンター
ケアマネ事務所 あいざわ
介護のことで悩んでいませんか？
介護の困り事はご相談ください。
ケアプランも作成できます。相談もできます。

●住　所　相馬市黒木字御門 167-5
●電　話　0244-26-8970
●メール　mari160824@yahoo.co.jp



KOHATA
水と空気のパイオニア
上下水道・暖冷房・衛生設備機器販売及設計施工
株式会社 コハタ
代表取締役　小幡　安

相馬市大曲字花立3番地
TEL 0244(36)4711㈹　FAX 0244(35)2064
H P https://khts.co.jp/

エイブル

不動産のご相談なら

エイブル相馬店

株式会社 佐伯不動産

代表取締役　佐伯　栄一

〒976-0042 相馬市中村字上町 44 番地

TEL0244-35-2083 / FAX 0244-35-1887



STAR SEIKI

最先端の研究開発を、
伴走支援型で夢をカタチに…

StarSeiki Co.,Ltd

– since 1932 -

航空宇宙、鉄道、理化学機器の設計製作

こだわりの備長炭で焼き上げる絶品串焼き！

炭火串焼き

鶏せんぼん

-TORISENBON-

〒976-0042 福島県相馬市中村字泉町 5-11

TEL.0244-35-2850

鉄鋼材・土木資材

建築資材・マキタ電動工具

株式会社

仙台屋金物店

代表取締役　亀 谷 正 哲

福島県相馬市沖ノ内３－１－５

TEL 0244－36－3125

FAX 0244－35－3033



電気設備･土木･消防設備･設計･施工

高山電業株式会社

〒976－0002　福島県相馬市椎木字北原371－1

TEL 0244-26-5760　　FAX 0244-26-5761

E-mail:takaden@fork.ocn.ne.jp

－地域開発のパワーステーション－

TACHIYA

有限会社 立谷商会

中村給油所　相馬市塚ノ町2-8-12　☎0244-35-5156

尾浜給油所　相馬市尾浜字二合田203-11　☎0244-35-5156

自分好みの一杯に！東京発祥の豚骨ラーメン

哲麺 縁

〒976-0013 福島県相馬市小泉字根岸 96
TEL.0244-26-6117

地域社会に貢献する会社へ

～金融サービスの枠を超えて～

すべてを地域のために
東邦銀行

真心こめて良い品を!!



鳥久精肉店

本店／福島県相馬市中村字田町 60 TEL 0244-35-2929
桜ケ丘店／福島県相馬市中村字桜ケ丘 157 TEL 0244-35-2277
torikyu@soma.or.jp



名刺・ハガキ・伝票から
イベント関連印刷物等
お気軽にお問合せ下さい。

中村印刷株式会社

〒976-0042 福島県相馬市中村字曲田 110
TEL. 0244-35-2942
FAX. 0244-35-4445
e-mail info@nakamura-in.jp



有限会社
中村タクシー

代表取締役 荒 佳幸

〒976-0042 福島県相馬市中村字荒井町30
TEL：0244-35-2121/0244-35-2733（事務所直通）
FAX：0244-36-6166
E-mail：nakamurataxi2121@outlook.jp

有限会社
ニイツマフーズ

代表取締役 新妻宏行

金助漬
良質な国産豚ロース肉を家伝の味噌に漬け込んだ逸品です。ぜひ、御賞味下さい。



〒979-2522
福島県相馬市日下石字金谷 40-1
電話 0244-35-2575
FAX 0244-35-6340

市内各中学校・相馬高校・相馬総合高校

男女制服取扱店

市内随一の専門店

SAMPUS SHOP
トム－ハイカラヤ

相馬市大町41（NTT前） TEL36-0323

本格中華料理を手軽に楽しめます

辣醤厨火
味くら

〒976-0042 福島県相馬市中村字泉町 2-13
TEL.0244-35-6326

●この記念誌を作成するにあたり、寄稿・写真提供などご協力いただきました関係者の皆様並びに各関係機関の皆様方に心より御礼申し上げます。
●本誌作成におきましては、最善を尽くしておりますが、誤字・脱字・内容の誤り等がございましたら、ご容赦願います。



日本商工会議所青年部　第45回東北ブロック大会

YEG 福島そうま大会

発行日　令和８年10月18日
主　催　東北ブロック商工会議所青年部連合会
　　日本商工会議所青年部
主　管　相馬商工会議所青年部
副主管　福島県商工会議所青年部連合会
編　集　第45回東北ブロック大会福島そうま大会実行委員会
発　行　相馬商工会議所青年部
　　〒976-0042 福島県相馬市中村字桜ヶ丘71番地
　　TEL 0244-36-3171
印　刷　株式会社ネクスト情報はましん


SOMA YEG